


インフロニア・ホールディングス  
23年3月期 第3四半期アナリスト向け決算説明会



February 14, 2023

# 23年3月期 第3四半期 決算説明会 目次

## 本編

1. 決算のポイント
2. インフロニア・ホールディングスの業績数値の推移
3. 決算の概要
4. セグメント別 売上高・利益の内訳
5. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移  
(建築、土木セグメント)
6. 資本戦略・還元方針／FY22 3Q実績と見通し
7. 政策保有株の売却状況について

## セグメント別ハイライト

1. 建築セグメント 売上高と売上総利益の推移
2. 建築セグメント 受注高と受注時利益率の推移
3. 建築セグメント 建物用途別 国内受注比率の推移
4. 土木セグメント 売上高と売上総利益の推移
5. 土木セグメント 受注高と受注時利益率の推移
6. インフラ運営セグメント 利益貢献額について
7. HD体制への移行に伴う官民連携の取組実績
8. 国内の主なインフラ運営事業
9. 三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業のご紹介
10. 舗装セグメント 売上高と売上総利益の推移（前田道路 連結）
11. 舗装セグメント 受注高、売上高、売上総利益の推移  
(前田道路 連結 建設事業)
12. 舗装セグメント 売上高と売上総利益の推移  
(前田道路 連結 製造販売事業)
13. 舗装セグメント 物価高騰の影響について
14. トピックス「日本バイオフューエル株式会社の設立」
15. 機械セグメント 売上高と売上総利益の推移（前田製作所 連結）
16. 機械セグメント 売上高と売上総利益の推移（前田製作所 連結）

## Appendix

1. 【個別】前田建設 FY22 3Q実績（累計）と通期計画
2. 【連結】前田道路 FY22 3Q実績（累計）と通期計画
3. 【連結】前田製作所 FY22 3Q実績（累計）と通期計画
4. 主なグループ会社のFY22 3Q実績と通期計画
5. セグメント分けの変更
6. インフラ運営事業（脱請負）のビジネスモデル
7. インフラ運営事業（脱請負）の新たな事業プラットフォームの構築
8. インフラ運営事業（脱請負）の第1号投資案件
9. 政策動向：PPP/PFI推進アクションプラン  
(令和4年度改訂版) が内閣府より公表
10. インフラ運営セグメント「利益貢献額」と「セグメント利益」の違いについて
11. トピックス「統合報告書2022 ～安全安心とサステナビリティ～」

# 1. 決算のポイント

## ① FY22 3Q実績(累計)・通期計画について (P.4, P.7)

- **3Q実績については**、土木およびインフラ運営事業の大幅増益により、**前年同期比で増収増益**となった。
- **通期の当期純利益については過去最高**となる見込み (対インフロニア・前田建設連結比)

## ② セグメント毎のFY22 3Q実績(累計)・通期計画について (P.10-30)

### 建築・土木セグメント (P.10-16)

- 建築の受注は、**通期計画の通り受注高2,600億円、通期で受注時利益率7%を確保できる見込み**
- 建築は、期末に向けて大型案件の完工、並びに物価上昇分の追加獲得により、通期では前年比増収増益の見込み
- 土木は、3Q時点での受注時利益率が前年比+3%の11.2%となった
- 土木は、好採算の手持工事が順調に推移し、**通期では前年比同様な高水準の利益率を見込む**

### インフラ運営セグメント (P.17-21)

- **3Q実績、通期共に前年同期比で大幅に増収増益**
- 大阪市工業用水道コンセッションに続き、国内初となる下水道の処理場、ポンプ場、管路の全ての維持管理から更新までを含む**三浦市公共下水道コンセッションの実施契約を締結 (4月から運営開始)**

### 舗装セグメント (P.22-27)

- 3Q実績は、前年同期比減益となっているものの、これまでの値上げ効果に加え、原油価格の下落と円高により、販売価格との乖離が解消し、**業績改善が進み、通期計画達成の見込み (P26)**

# 1. 決算のポイント

## 機械セグメント (P.28-30)

- **3Q実績については、前年同期比並**となった。「クローラクレーン」をはじめとする自社製品の販売が堅調に推移したことにより、部品供給の遅れ及び資材高騰の影響は限定的であった
- 4Qにかけても、需要は堅調であり、**通期業績は計画達成の見込み**

## ③株主還元について (P.8)

- FY21の自己株式200億円取得に引き続き、**FY22中に100億円取得し、速やかに消却**の予定  
(8月10日発表)

## ④政策保有株について (P.8-9)

- FY22中に約200億円を目標に順調に**売却を進行中** (3Q時点22.6%,200億円売却時点で20.6%)
- 1年度前倒しで、**FY23中に中期経営計画目標20%以下**の達成を目指す

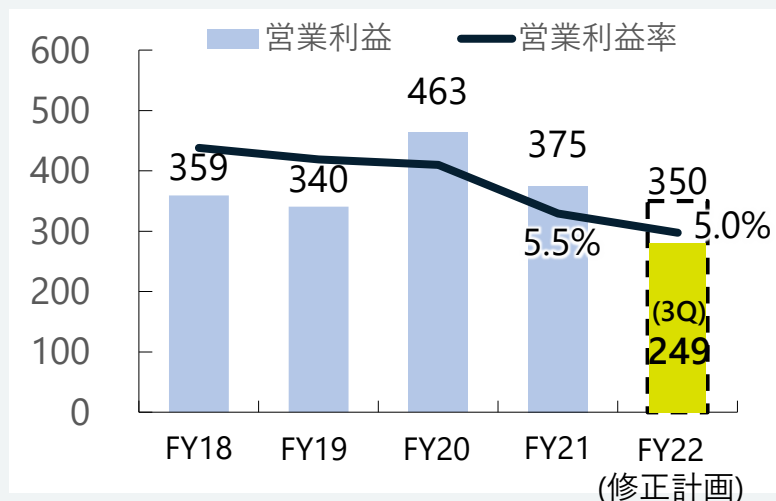


## 2. インフロニア・ホールディングスの業績数値の推移

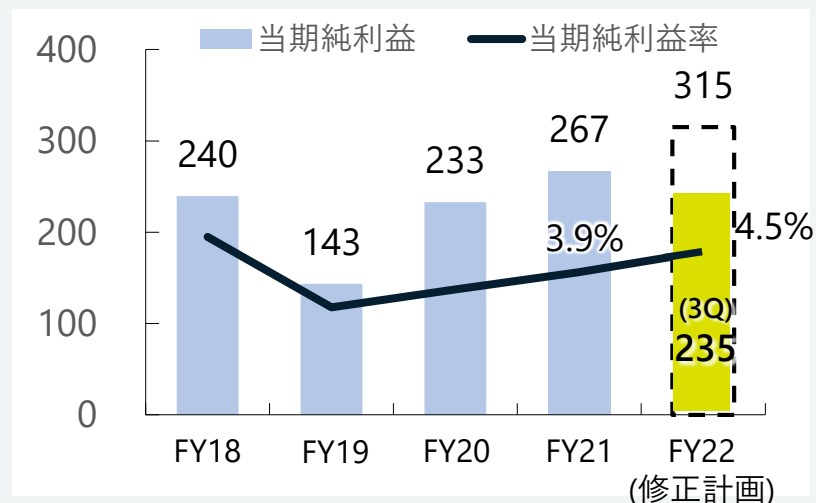
- **当期純利益は過去最高**（対 旧前田建設連結）
- 営業利益および付加価値額※は前期並みを見込む

(億円)

### 営業利益

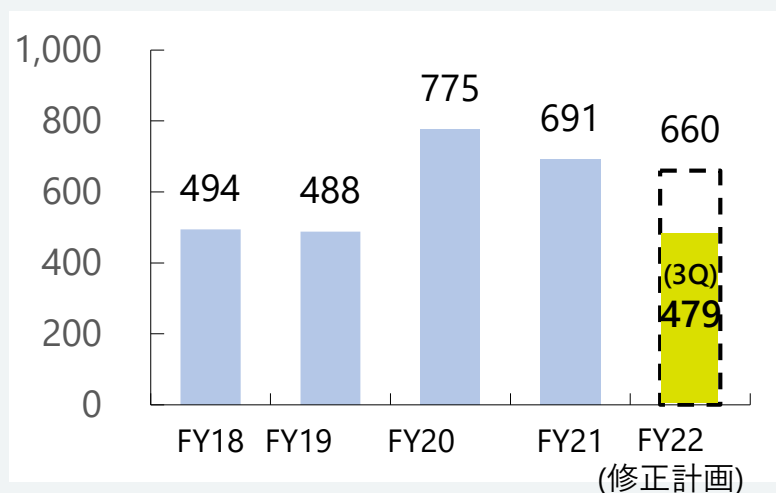


### 当期純利益



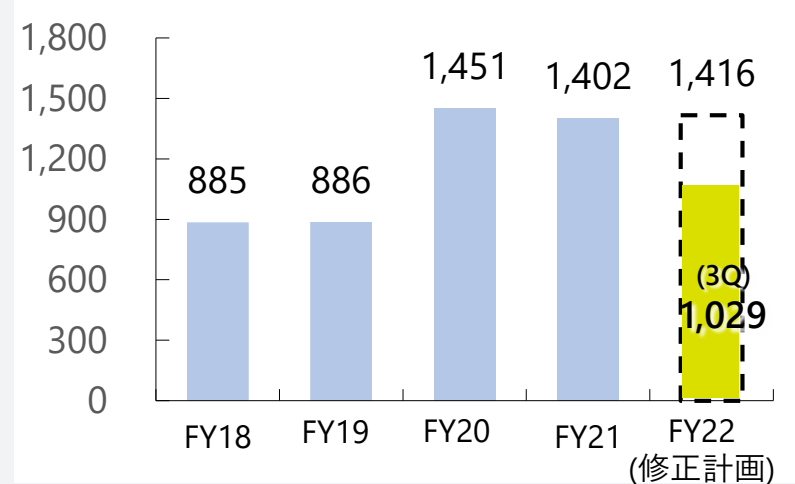
### EBITDA

※EBITDA = 営業利益+減価償却費



### 付加価値額

※付加価値額 = 営業利益+総人件費+減価償却費+研究開発費



### 3. 決算の概要

- 3Q実績は、風力発電事業の売却等により**前年同期比で増収増益**
- 通期計画は、工事進捗の遅れ等により2Q時点で修正したが、政策保有株の売却等により、当期純利益については**過去最高**となる見込み（対前田建設連結比）

（億円）

	インフロンニアHD			
	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	前年 同期比	進捗率
売上高	4,823	4,958	135	70.3%
売上総利益	584 (12.1%)	666 (13.4%)	82	67.6%
一般管理費	408 (8.5%)	418 (8.4%)	10	74.7%
営業利益	175.6 (3.6%)	249 (5.0%)	73	58.3%
営業外収益	30 0.63%	36 (0.7%)	5	96.1%
営業外費用	26 0.54%	25 (0.5%)	△1	85.3%
経常利益	180 (3.7%)	259 (5.2%)	80	59.6%
特別利益	38 (0.8%)	85 (1.7%)	47	—
特別損失	4 (0.1%)	9 (0.2%)	5	—
当期純利益	107 (2.2%)	235 (4.7%)	128	72.5%
自己資本	3,483	—		
ROE	—	—		
EPS	—	—		

	インフロンニアHD				前期比 ③-①
	FY21 通期実績 ①	FY22		差 ③-②	
		通期予想 ②	修正予想 ③		
	6,829	7,306	7,050	256	221
	916 (13.4%)	985 (13.5%)	921 (13.1%)	△64	5
	541 (7.9%)	559 (7.7%)	571 (8.1%)	12	30
	375 (5.5%)	426 (5.8%)	350 (5.0%)	△76	△25
	41 (0.6%)	37 (0.5%)	46 (0.7%)	9	5
	35 (0.5%)	29 (0.4%)	28 (0.4%)	△1	△7
	380 (5.6%)	435 (6.0%)	368 (5.2%)	△67	△12
	85 (1.2%)	— —	— —	—	—
	20 (0.3%)	— —	— —	—	—
	267 (3.9%)	324 (4.4%)	315 (4.5%)	△9	48
	3,469	—	—		
	7.7%	—	—		
	94.7円	123.3円	121.5円		

#### 4. セグメント別 売上高・利益の内訳

(億円)

	インフロニアHD		
	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	進捗率
<b>売上高</b>	<b>4,823</b>	<b>4,958</b>	<b>70.3%</b>
建築	1,526	1,415	62.0%
土木	992	1,087	74.0%
舗装	1,672	1,746	74.0%
機械	249	251	70.5%
インフラ運営	119	187	87.1%
その他	265	272	74.2%
<b>売上総利益</b>	<b>584 (12.1%)</b>	<b>666 (13.4%)</b>	<b>72.3%</b>
建築	143 (9.4%)	130 (9.2%)	54.1%
土木	168 (16.9%)	211 (19.4%)	83.2%
舗装	157 (9.4%)	155 (8.9%)	73.6%
機械	53 (21.3%)	54 (21.4%)	71.1%
インフラ運営	30 (25.0%)	91 (48.4%)	90.6%
その他	33 (12.4%)	26 (9.6%)	61.8%
<b>営業利益</b>	<b>176 (3.6%)</b>	<b>249 (5.0%)</b>	<b>71.0%</b>
建築	28 (1.9%)	21 (1.5%)	23.8%
土木	90 (9.0%)	129 (11.8%)	91.3%
舗装	16 (0.9%)	7 (0.4%)	55.5%
機械	12 (5.0%)	11 (4.4%)	73.3%
インフラ運営	17 (14.4%)	76 (40.7%)	95.2%
その他	12 (4.6%)	4 (1.6%)	34.2%

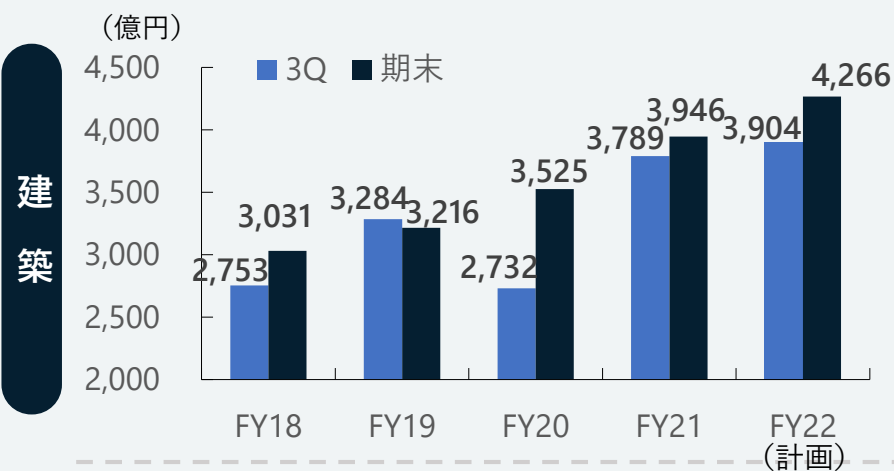
	インフロニアHD				前期比 ③-①
	FY21 通期実績 ①	FY22			
		通期計画 ②	修正計画 ③	差 ③-②	
<b>売上高</b>	<b>6,829</b>	<b>7,306</b>	<b>7,050</b>	<b>△ 256</b>	<b>221</b>
建築	2,161	2,383	2,284	△ 99	123
土木	1,426	1,556	1,470	△ 86	44
舗装	2,328	2,401	2,360	△ 41	32
機械	353	355	355	0	2
インフラ運営	187	217	215	△ 2	28
その他	374	395	366	△ 29	△8
<b>売上総利益</b>	<b>917 (13.4%)</b>	<b>985 (13.5%)</b>	<b>921 (13.1%)</b>	<b>△ 64</b>	<b>5</b>
建築	234 (10.8%)	259 (10.9%)	240 (10.5%)	△ 19	6
土木	260 (18.3%)	241 (15.5%)	254 (17.3%)	13	△6
舗装	225 (9.7%)	263 (11.0%)	210 (8.9%)	△ 53	△15
機械	74 (20.9%)	75 (21.2%)	75 (21.2%)	0	2
インフラ運営	76 (40.6%)	100 (46.1%)	100 (46.5%)	0	24
その他	48 (12.8%)	47 (11.8%)	42 (11.5%)	△ 5	△6
<b>営業利益</b>	<b>375 (5.5%)</b>	<b>426 (5.8%)</b>	<b>350 (5.0%)</b>	<b>△ 76</b>	<b>△25</b>
建築	92 (4.2%)	116 (4.9%)	88 (3.9%)	△ 28	△4
土木	152 (10.6%)	138 (8.9%)	141 (9.6%)	3	△11
舗装	33 (1.4%)	58 (2.4%)	13 (0.6%)	△ 45	△20
機械	18 (5.2%)	15 (4.2%)	15 (4.2%)	0	△3
インフラ運営	61 (32.6%)	82 (37.8%)	80 (37.2%)	△ 2	19
その他	19 (5.1%)	17 (4.3%)	13 (3.6%)	△ 4	△6

※舗装セグメントはTOBに伴うのれんの償却等が加味されております  
 ※セグメント分けの詳細についてはP.41をご参照ください

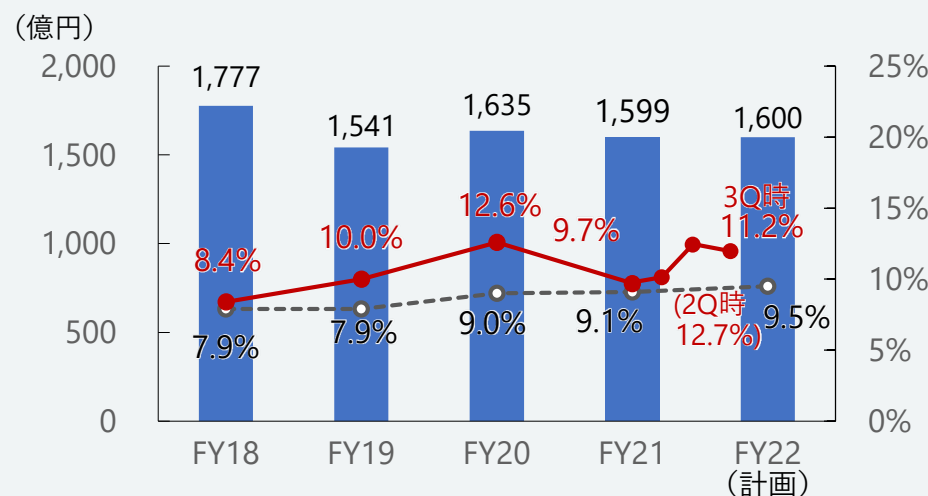
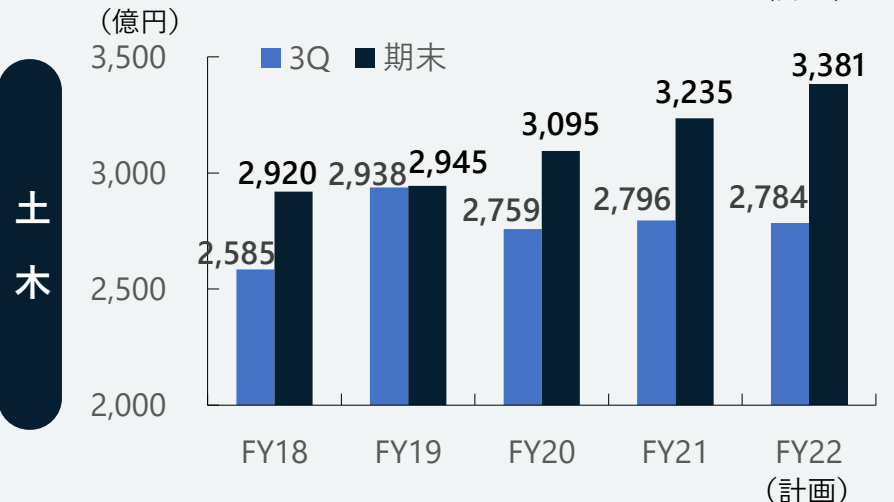
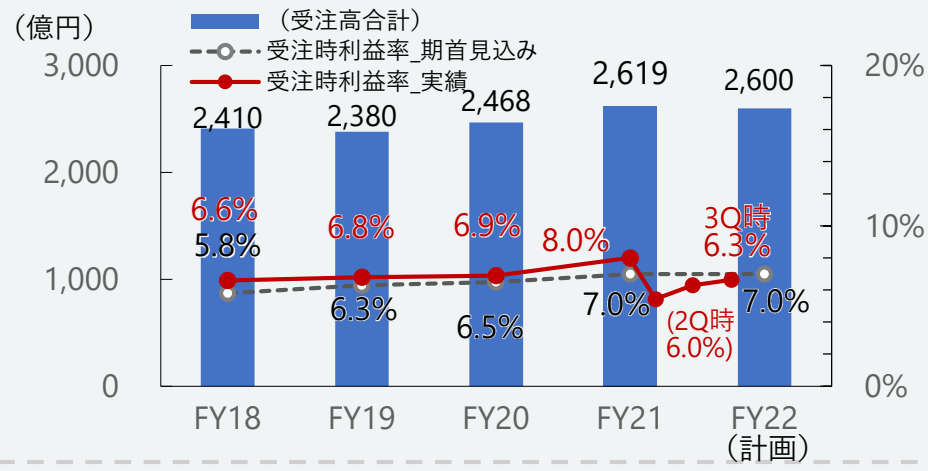
## 5. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移（建築、土木セグメント）

- 建築、土木セグメント共に、期末時の手持工事高は**過去最高額**であり、**高水準の受注時利益率**を見込む
- 建築工事の受注時利益率は、2Q時点の6.0%から、さらに物価上昇等の設計変更を予定通り獲得し、3Q時では6.3%へ回復した。下期以降も順調に回復する見込み
- 物価上昇分の交渉に加え、引き続き受注競争に巻き込まれにくい**上流からの作り込み**（安定顧客、設計施工比率、大型案件情報確保）により、受注時利益率管理を徹底する

### 手持工事高の推移※



### 受注高・受注時利益率の推移※



※前田建設（個別）の業績数値



## 6. 資本戦略・還元方針／FY22 3Q実績と見通し

### 株主還元

- FY21の自己株式200億円取得に引き続き、**FY22中に100億円取得し、速やかに消却**の予定（8/10発表）

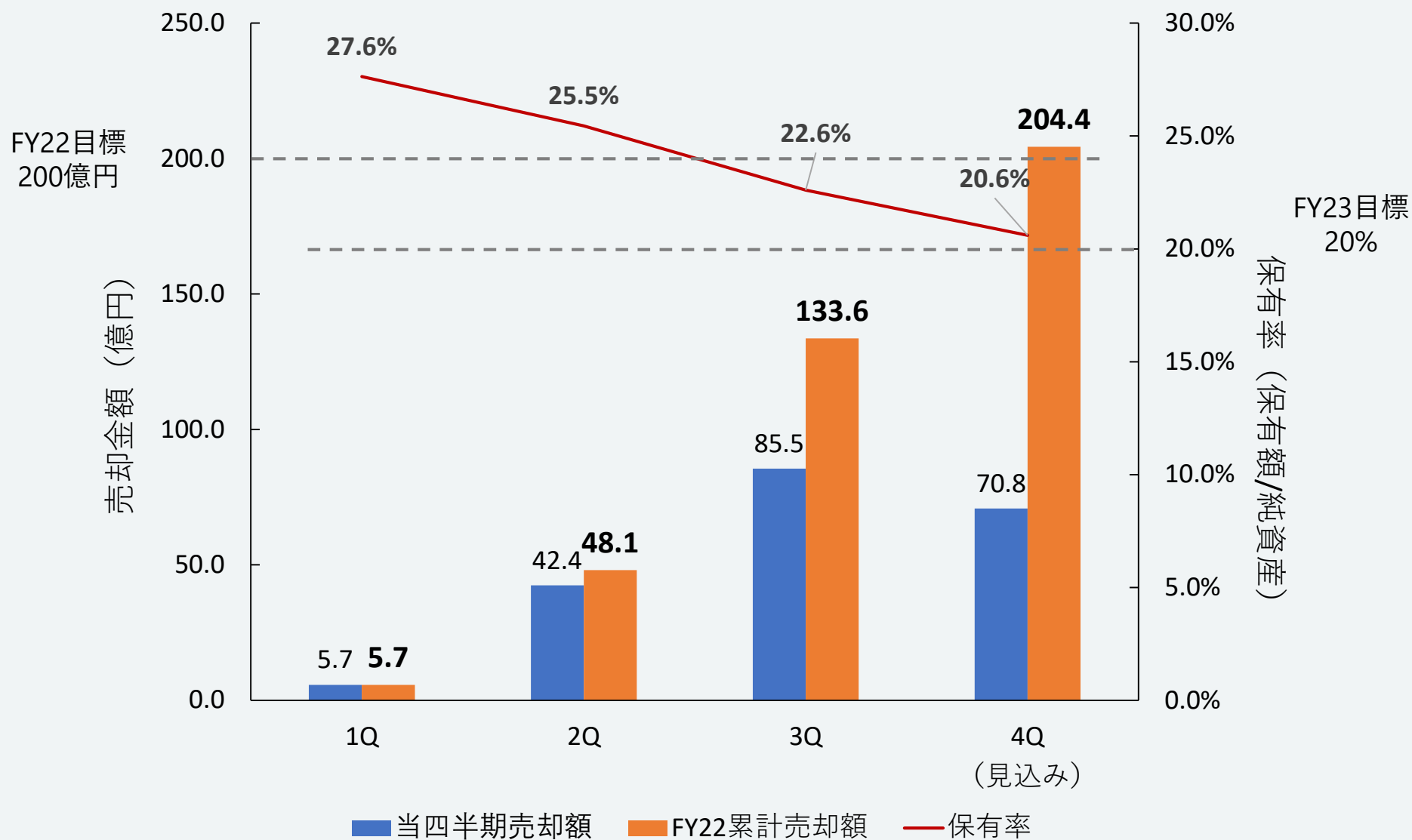
### 政策保有株

- FY22中に200億円程度を目標に**売却を進行中（3Q時点22.6%,200億円売却できた場合は20.6%）**
- 1年度前倒しで、**FY23中に中期経営計画目標20%以下**の達成を目指す

Medium-term Vision 2024 (中期経営計画)			FY22 3Q実績	備考
資本効率	ROE	9.5%	9.1%	FY22 3Q時点
最適 資本構成	自己資本比率	30%以上	37.6%	FY22 3Q時点
	D/Eレシオ	0.6倍以下	0.6倍	FY22 3Q時点
株主還元	配当性向	30%以上	32.9% (期末見込)	FY22通期計画 1株当たり配当額 40円
	自己株式の 取得	FY24までに 400億円以上	FY22中に100億円取得 (8/10発表)	FY21で200億円を取得済 計画通り今期中100億円の取得完了見込
	総還元性向	—	66.6% (期末見込)	FY22通期計画 配当性向32.9% + 自己株式取得31.7% + 地球への配当2.0%
資産 効率化	政策保有株/ 純資産割合	20%以下	22.6%	3Q時約85億円の売却が進行 FY22 2Q 25.5% → FY22 3Q 22.6% 3Q時点は22.6%,200億円売却できた場合は20.6%
	保有資産の 売却	グループ保有資産の利用状況等を精査し、非効率な資産の売却・統合を検討		

## 7. 政策保有株の売却状況について

- FY22中に200億円程度を目標に売却を進行中
- 3Qに約85億円の売却が進行し、FY22累計では約204億円の売却となる見込み



## セグメント別ハイライト

建築

土木

インフラ運営

舗装

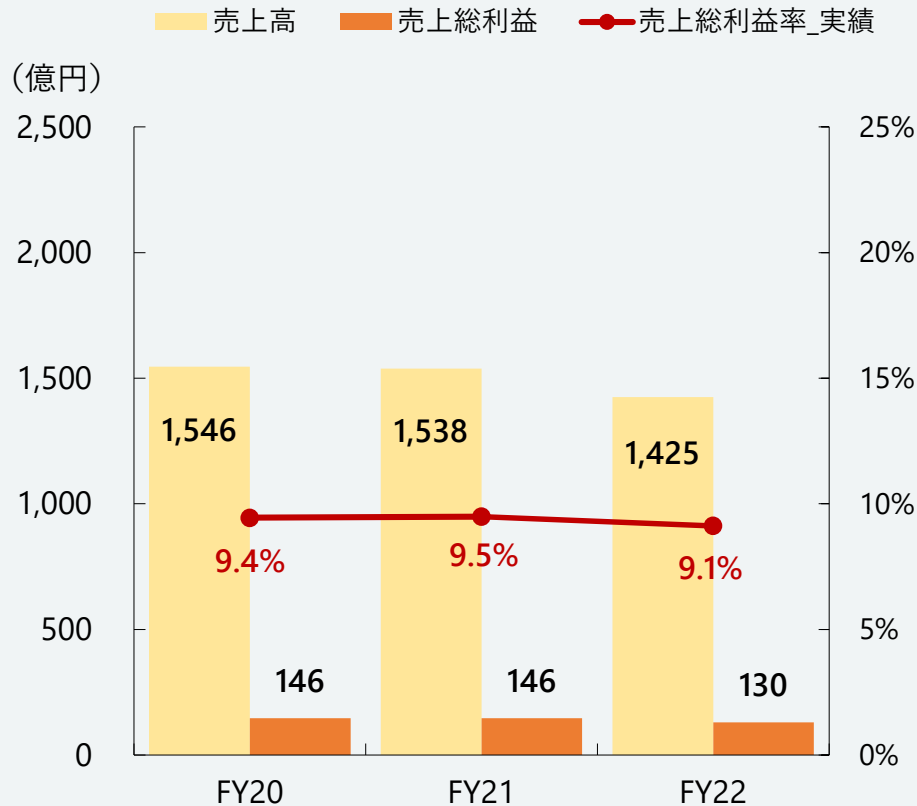
機械

その他

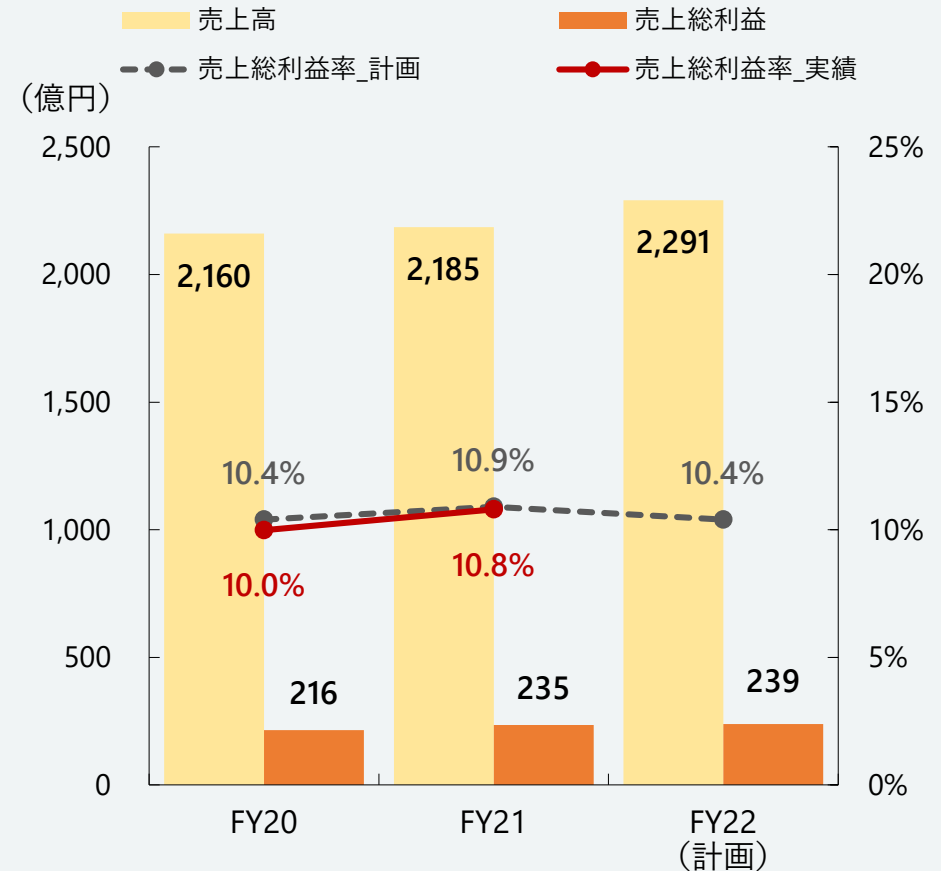
# 1. 建築セグメント 売上高と売上総利益の推移（前田建設 個別 国内）

- FY22 3Q 着工遅れ、施工計画の見直し後、売上高の進捗は計画通りに推移
- FY22通期 期末に向けて大型案件の完工、並びに物価上昇分の追加獲得により売上高・売上総利益とも回復の見込み

## 第3四半期※



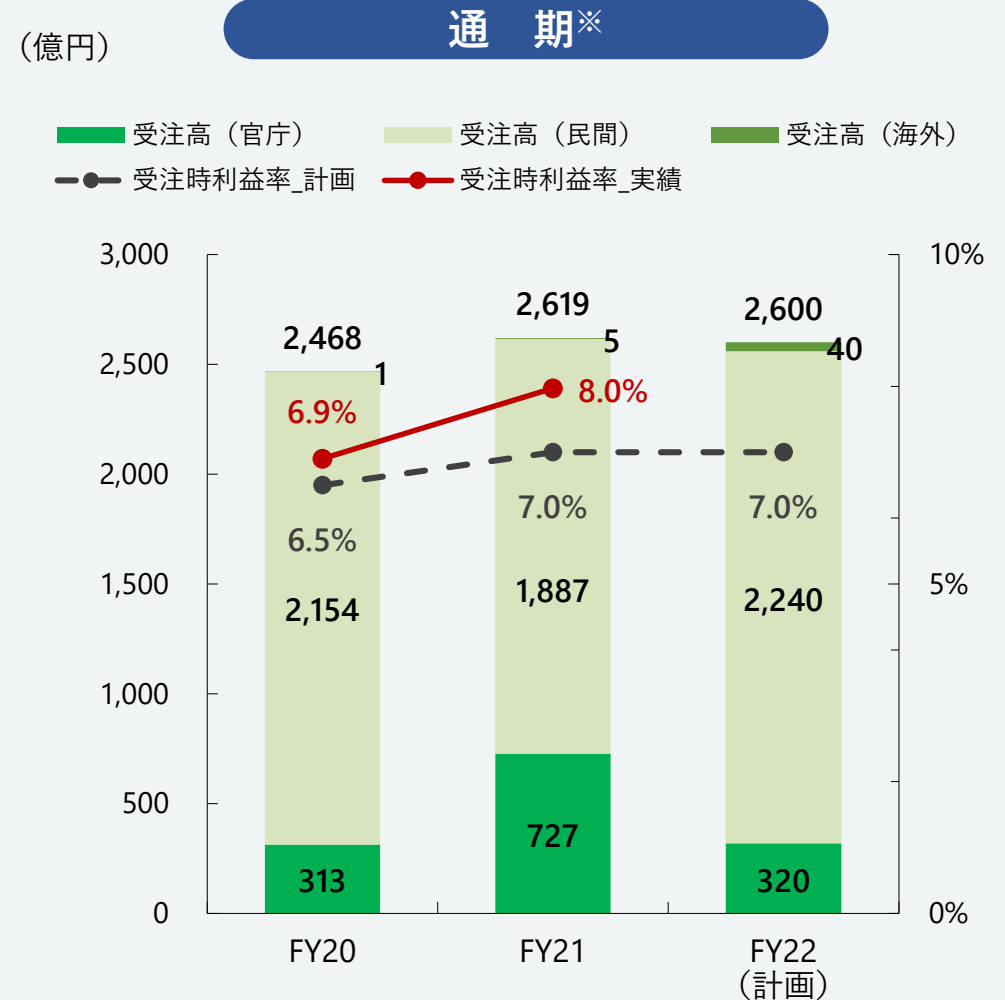
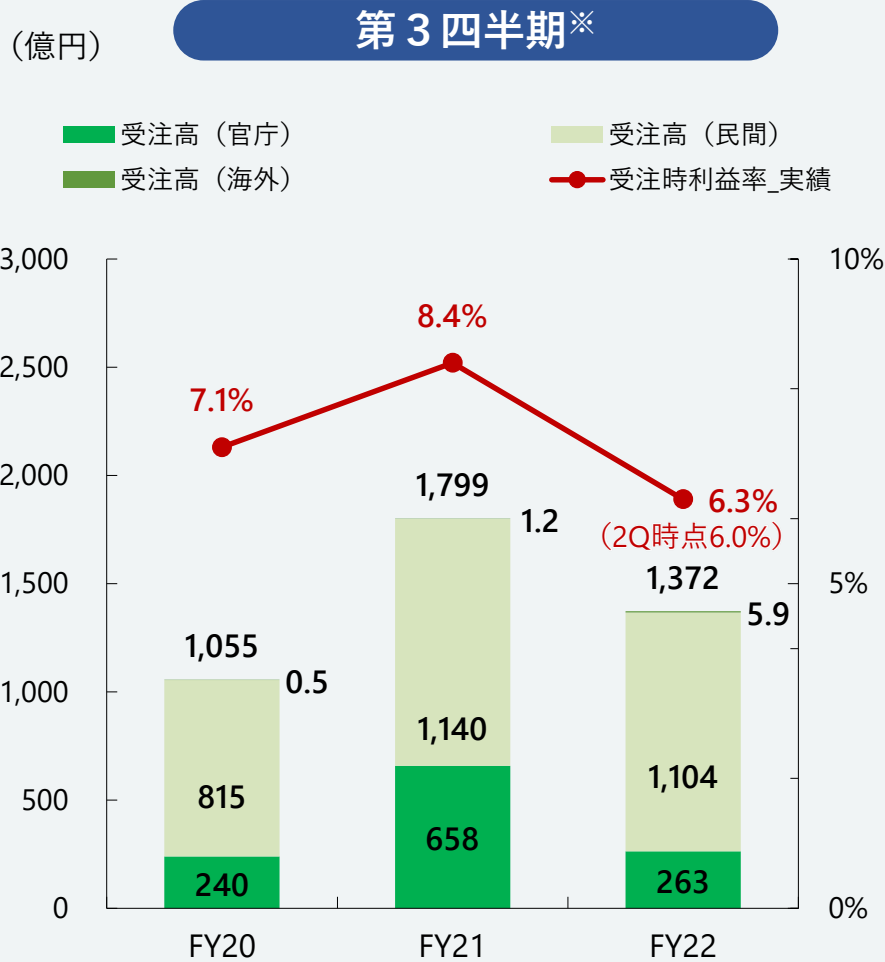
## 通期※



※不動産事業を含む数値のため、FY21以前の数値は過去の決算説明資料と数値が異なる。  
 海外の主要現地法人の売上高、売上総利益はインフロニア・ホールディングス その他セグメントに含まれる。

## 2. 建築セグメント 受注高と受注時利益率の推移（前田建設 個別）

- FY22 3Q 受注時利益率は、2Q時点の6.0%から、さらに物価上昇等の設計変更を予定通り獲得し、3Q時では6.3%へ回復
- FY22通期 受注内示や優先交渉権等、獲得している案件により、計画通り受注高2,600億円を見込む  
物価上昇等の設計変更を予定通り獲得することで、計画通り受注時利益率7%を見込む

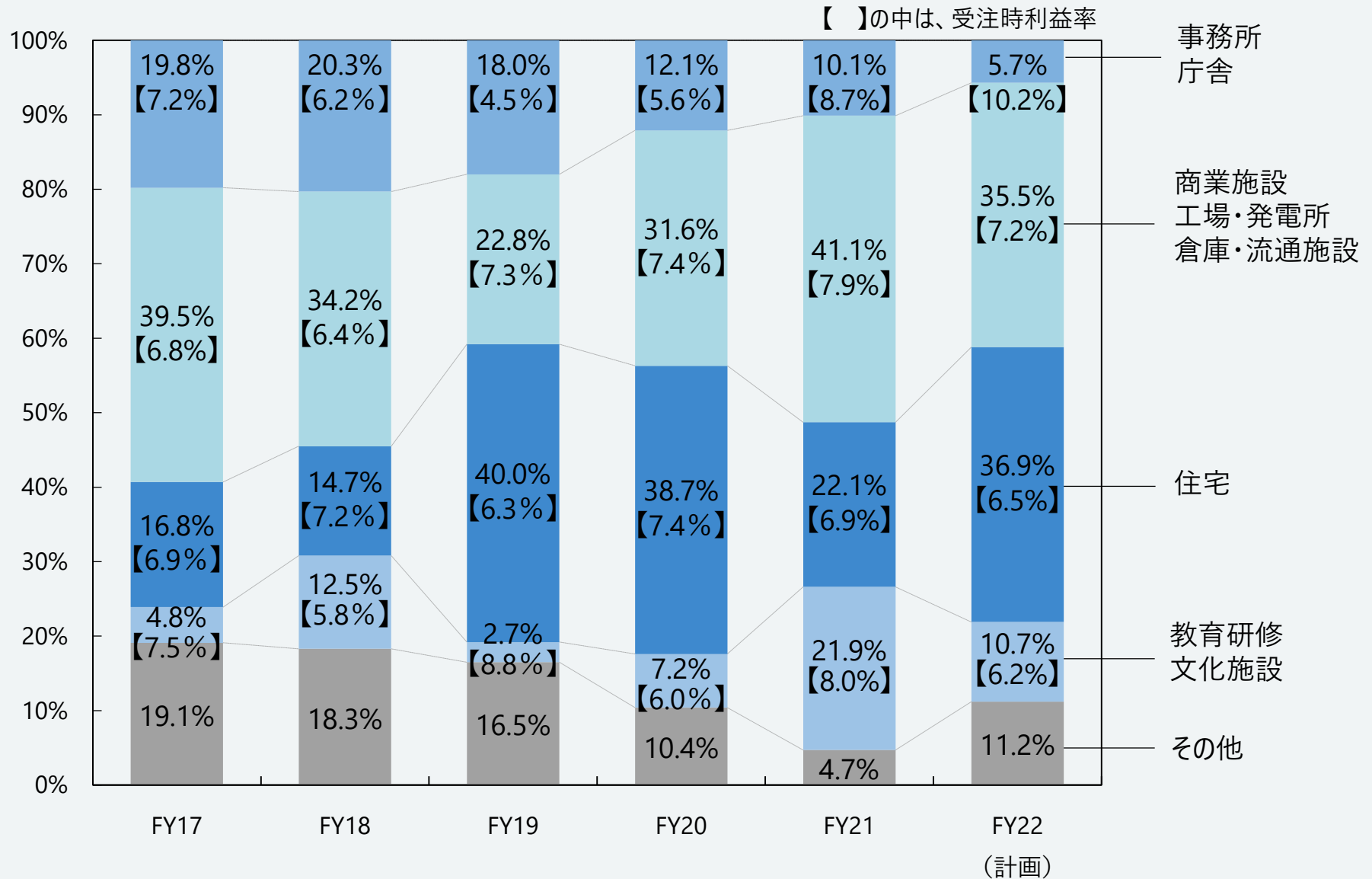


※不動産事業を含む数値のため、FY21以前の数値は公表資料と数値が異なる。  
※海外については、当時の為替レートにより算定した額。



### 3. 建築セグメント 建物用途別 受注比率の推移（前田建設 個別 国内）

- FY22 通期 再開発プロジェクトの複数受注による住宅の大型受注により「住宅」比率が高まる  
 宿泊施設、工場および物流倉庫の堅調な受注により「商業・工場・倉庫」および  
 「住宅」の2つの用途が全体受注を牽引



## セグメント別ハイライト

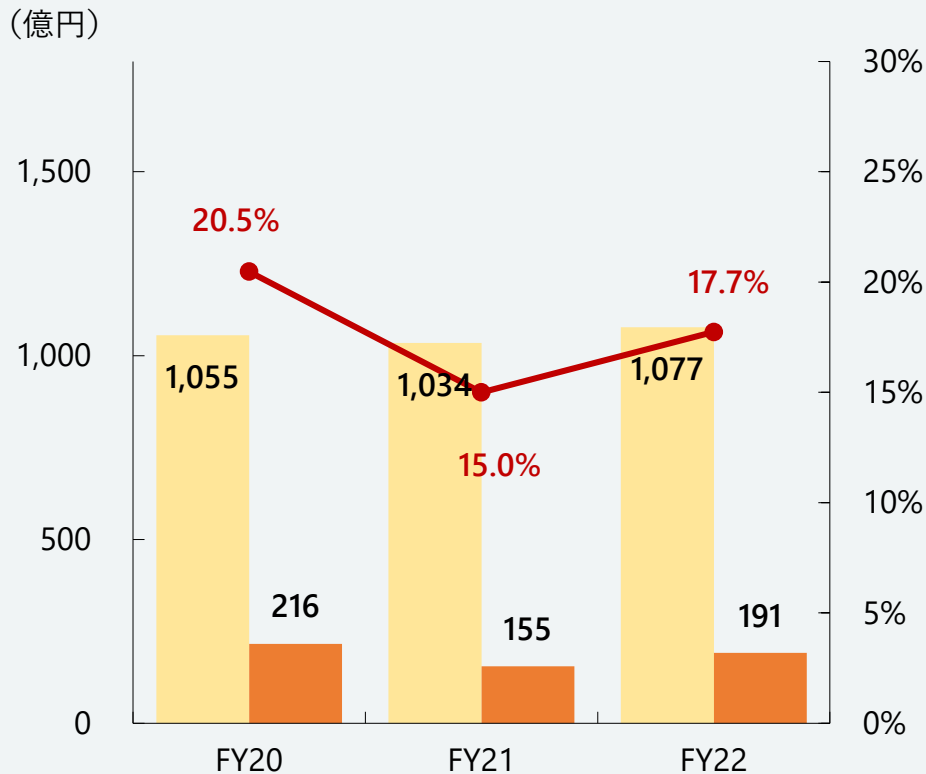
建築	<b>土木</b>	インフラ運営
舗装	機械	その他

## 4. 土木セグメント 売上高と売上総利益の推移（前田建設 個別 国内）

- FY22 3Q 採算性の良い大型手持工事が順調に進捗し、前年同期比増収増益
- FY22 通期 計画通りに進捗する見込みであるが、更なる設計変更獲得を図り、増収増益を目指す

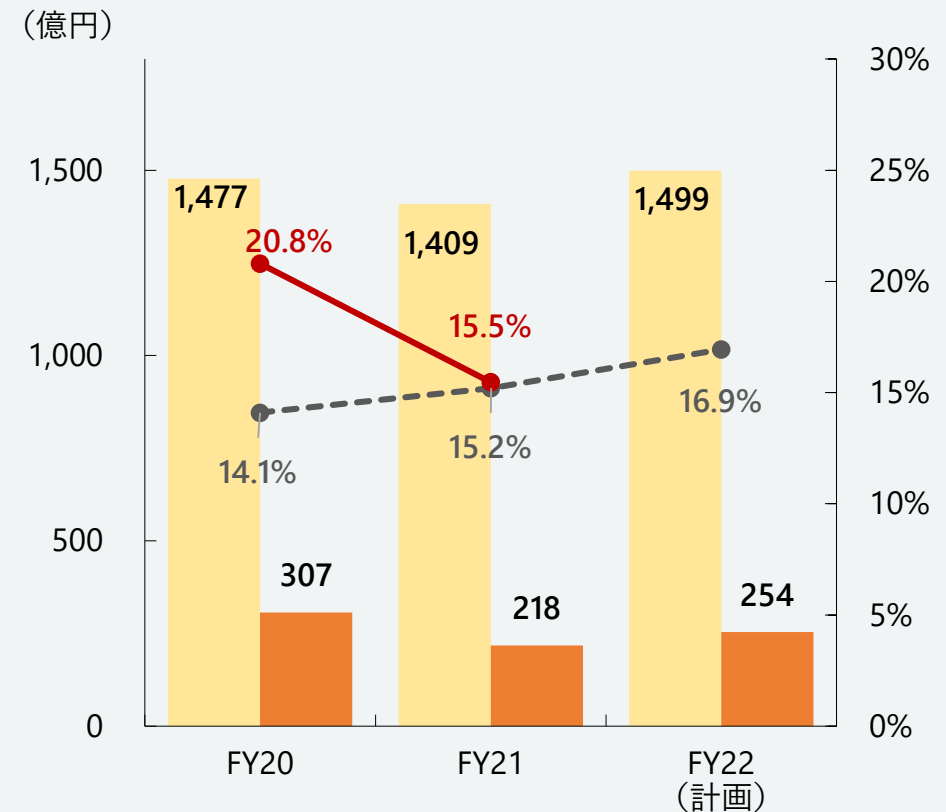
### 第3四半期※

売上高 売上総利益 売上総利益率\_実績



### 通期※

売上高 売上総利益  
売上総利益率\_計画 売上総利益率\_実績

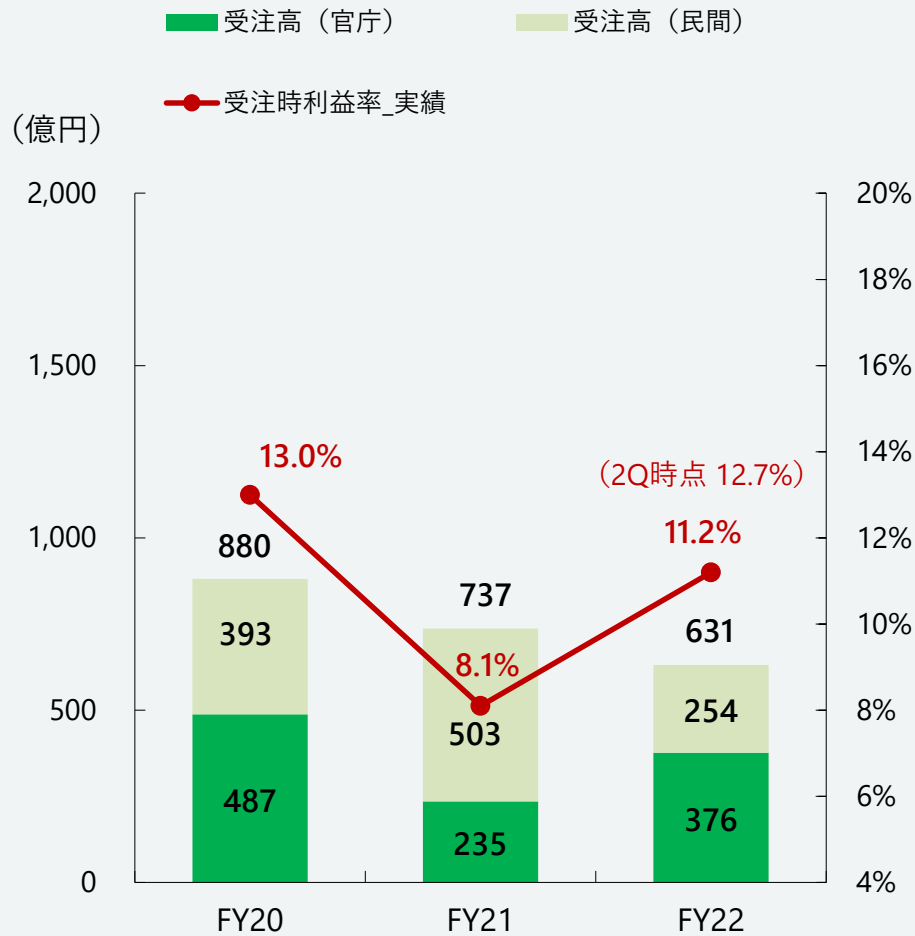


※不動産事業を含む数値のため、FY21以前の数値は公表資料と数値が異なる。

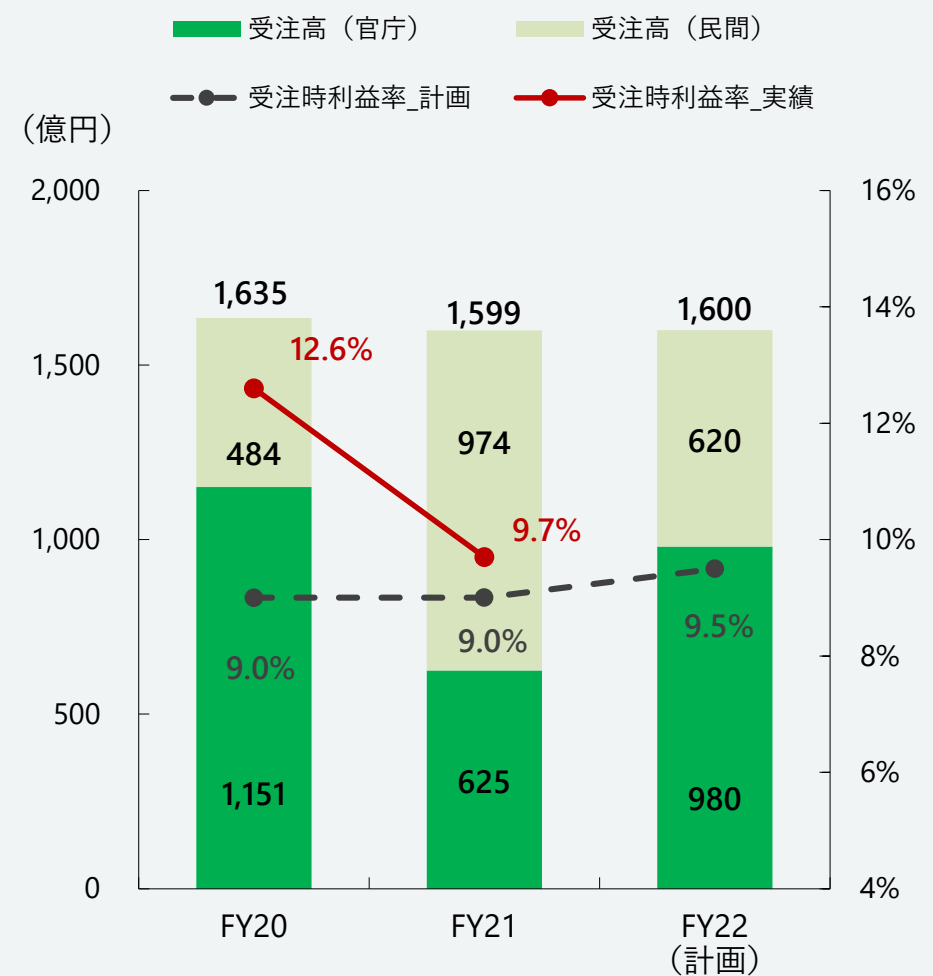
## 5. 土木セグメント 受注高と受注時利益率の推移（前田建設 個別 国内）

- FY22 3Q 受注高は民間受注の減少が影響したが、受注時利益率は依然高水準を維持
- FY22通期 4Qに集中する大型案件の受注、更なる設計変更の獲得に注力

第3四半期※



通期※



※不動産事業を含む数値のため、FY21以前の数値は公表資料と数値が異なる。

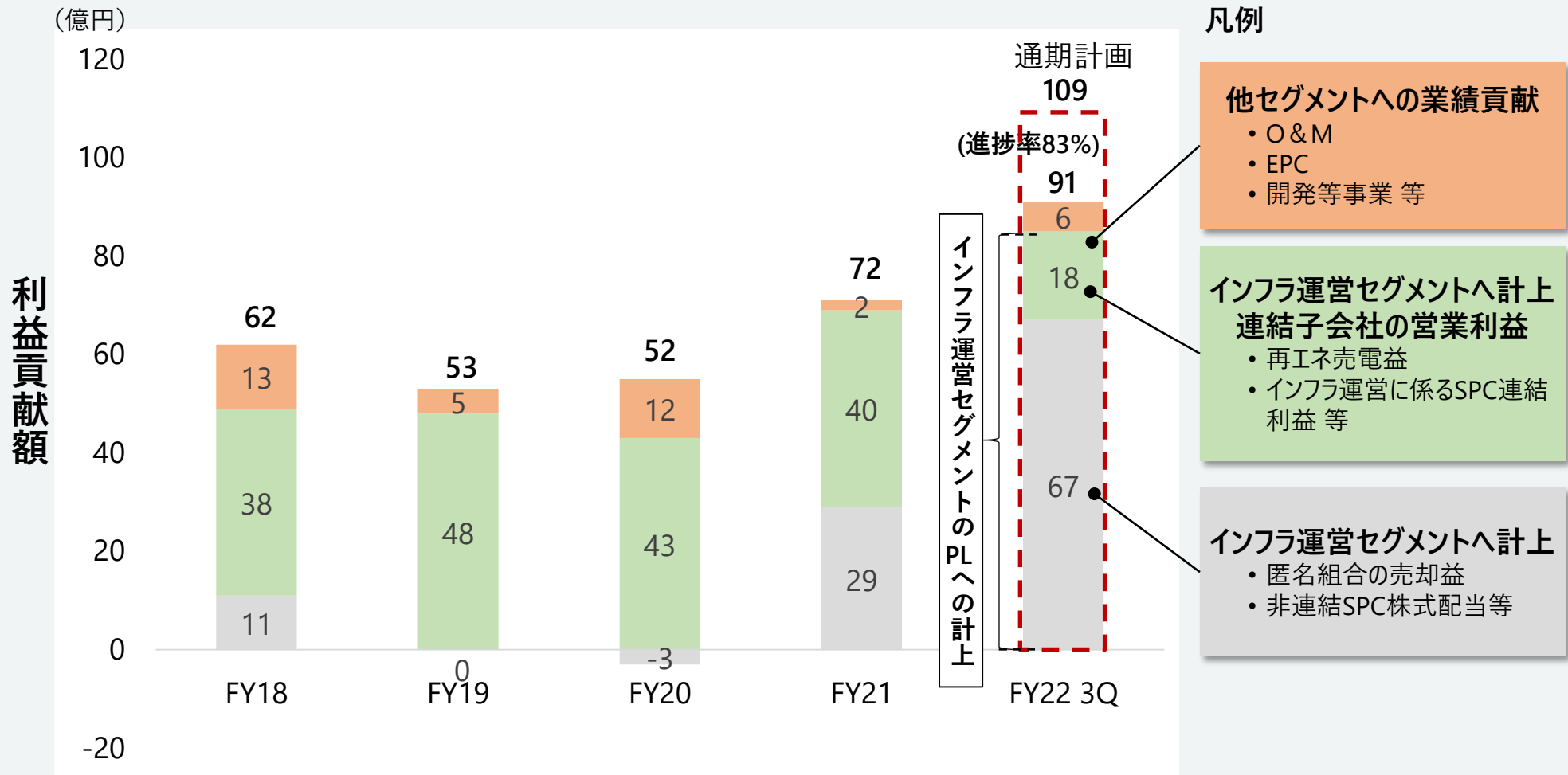
## セグメント別ハイライト

建築	土木	インフラ運営
舗装	機械	その他



## 6. インフラ運営セグメント 利益貢献額について

- 再生可能エネルギー事業において風力1件の売却(1Q時)により、前年同期比で大幅に増収増益
- 三浦市公共下水道コンセッションの基本協定を締結、4月から運営開始予定
- 通期の利益貢献額は、**過去最高の109億円**となる見込み



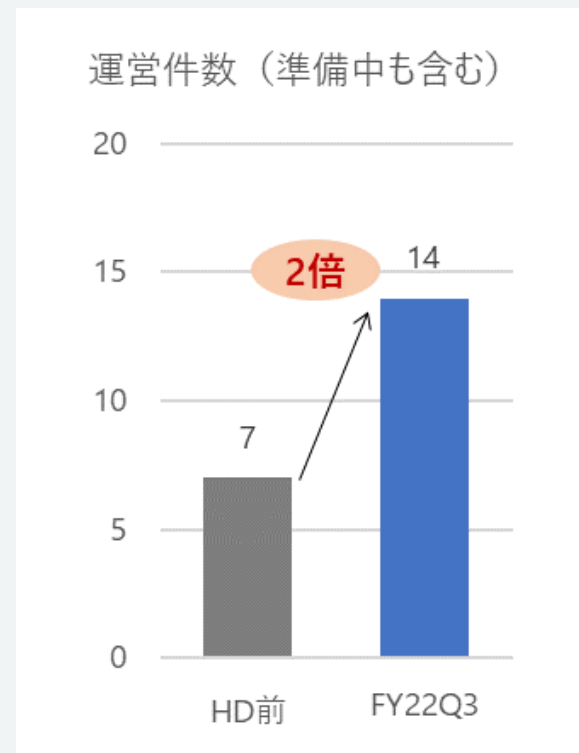
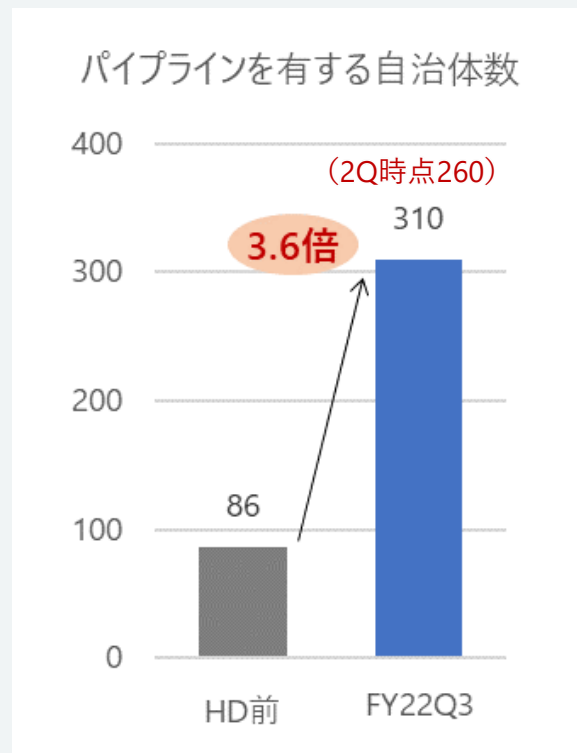
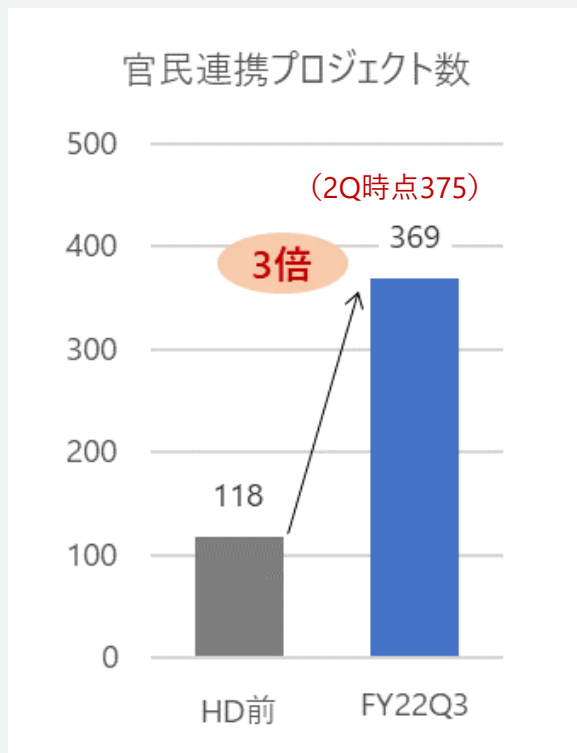
※1 O&M インフラの維持管理に伴う運転管理業務・維持管理業務等  
 ※2 EPC インフラ運営事業に伴う設計・調達・建設工事等の一括請負業務

## 7. HD体制への移行に伴う官民連携の取組実績

- HD発足後、全国のエリアで前田建設、前田道路、前田製作所, JM, エフビーエスが地域ごとに一体となって営業を推進する体制に強化

- ✓ 1年間で官民連携プロジェクトの自治体パイプラインが急拡大

- ✓ 当社グループの運営件数も倍増

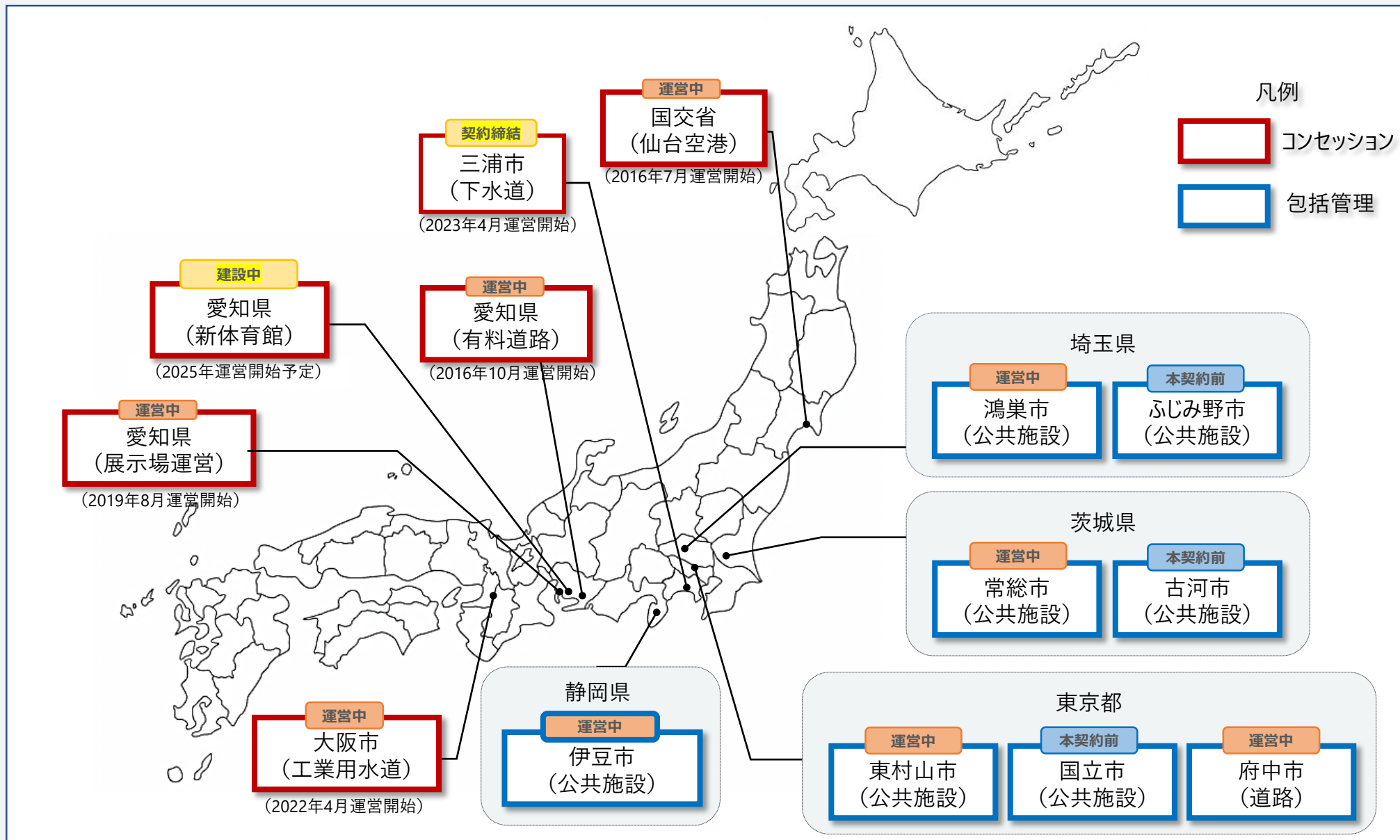


コンセッション 運営中4件、準備中2件  
 包括管理 受託中5件、準備中3件

## 8. 国内の主なインフラ運営事業

### POINT

- ✓ 様々なインフラサービスにおける確かな実績
- ✓ 包括管理業務により、自治体の縦割り構造による非効率を解消し、効率的な一括管理を実施



## 9. 三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業のご紹介

### POINT

- ✓ 国内初、一処理区の処理場、ポンプ場、管路の全ての維持管理から更新までを含む下水道コンセッション
- ✓ 小規模自治体の下水道に共通する課題を設備ダウンサイズやデータドリブン経営で解決
- ✓ 三浦市との実施契約は2022年12月28日に締結済み、4月1日の事業開始に向けて業務引継ぎ中

発注者	三浦市
事業会社	三浦下水道コンセッション株式会社
構成企業	前田建設(49%) 東芝インフラシステムズ(20%) クボタ(20%) 日本水工設計(10%) ウォーターエージェンシー(1%)
期間	2023年4月～2043年3月（20年間）
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部浄化センター（処理能力：8,050m<sup>3</sup>/日）</li> <li>・ 金田中継センター</li> <li>・ 管路（総延長：58 km ※うち幹線延長：8.45 km）</li> <li>・ マンホールポンプ 14 箇所</li> </ul>
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共下水道の経営</li> <li>・ 改築（土木建築、機電、管路）</li> <li>・ 処理場・ポンプ場の維持管理</li> <li>・ 管路の維持管理</li> <li>・ 各種計画（下水道事業計画等）策定支援</li> </ul>

■三浦市東部処理区 区域



## セグメント別ハイライト

建築

土木

インフラ運営

舗装

機械

その他

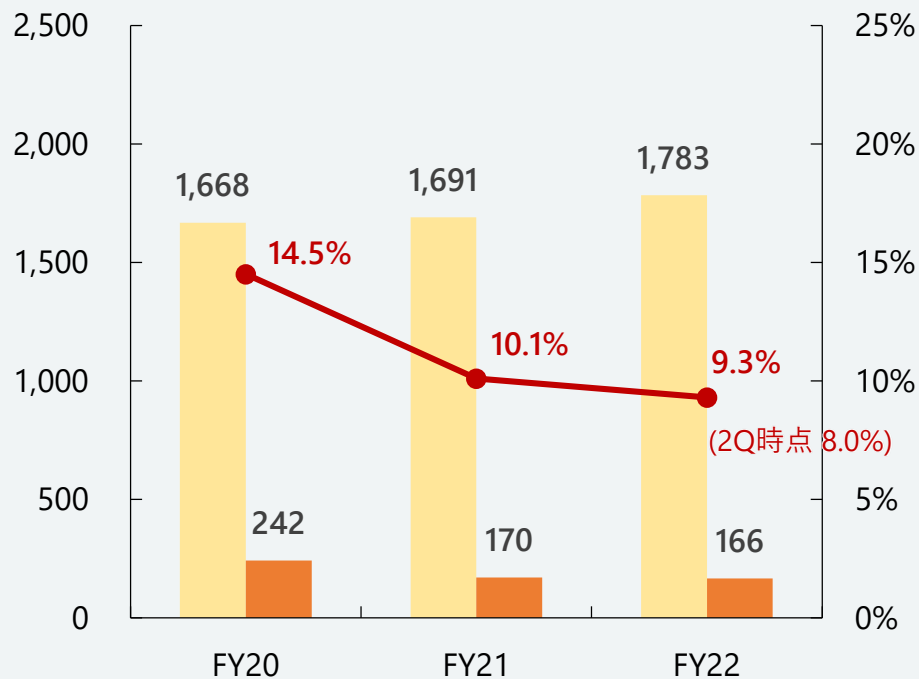


## 10. 舗装セグメント 売上高と売上総利益の推移（前田道路 連結）

- FY22 3Q 前年同期比増収減益  
売上高は前年同期比増収、これまでの値上げ効果により業績改善が進んでいる
- FY22通期 売上高利益ともに計画達成の見込み

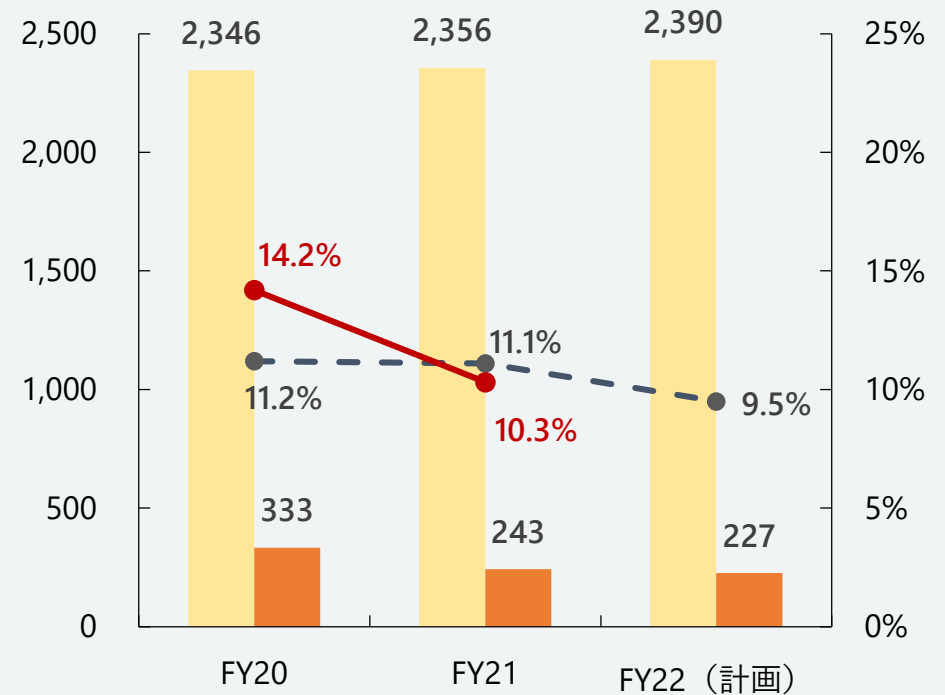
### 第3四半期※

売上高 売上総利益 売上総利益率\_実績



### 通 期

売上高 売上総利益  
売上総利益率\_計画 売上総利益率\_実績

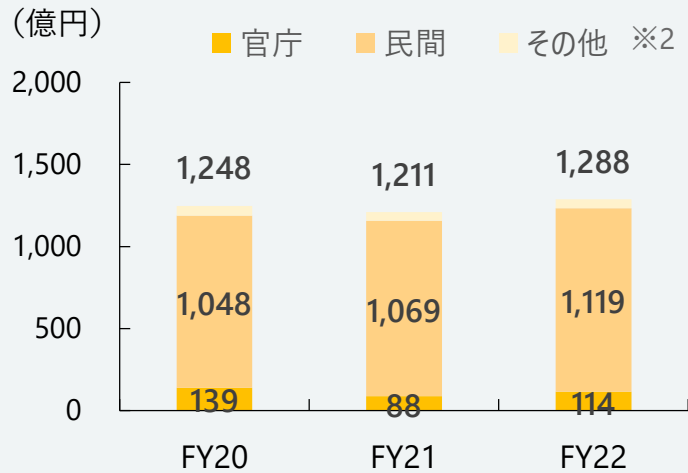


※上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

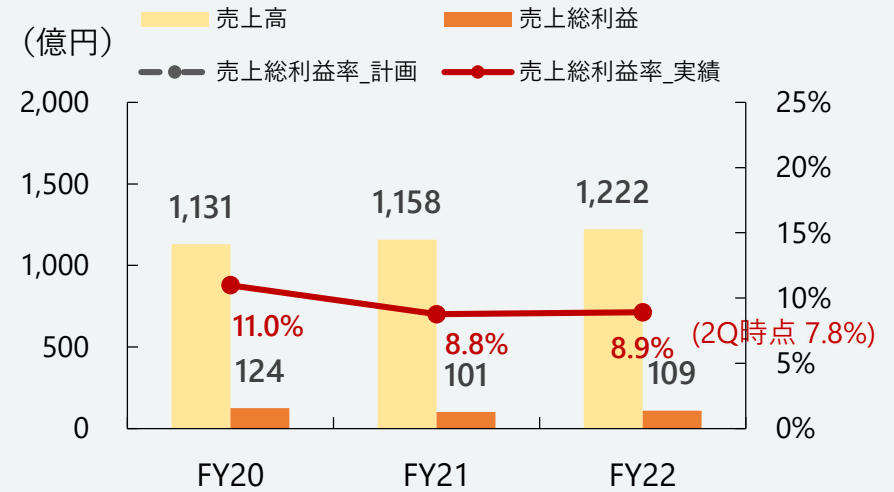
# 11. 舗装セグメント 受注高、売上高、売上総利益の推移（前田道路 連結 建設事業）

- FY22 3Q 安定した受注の確保、材料費高騰分の見積価格への転嫁が進み、前年同期比増収増益
- FY22通期 今後も、材料費高騰分の見積価格への転嫁を適切に行うことで、利益率の改善を図る

受注高※1

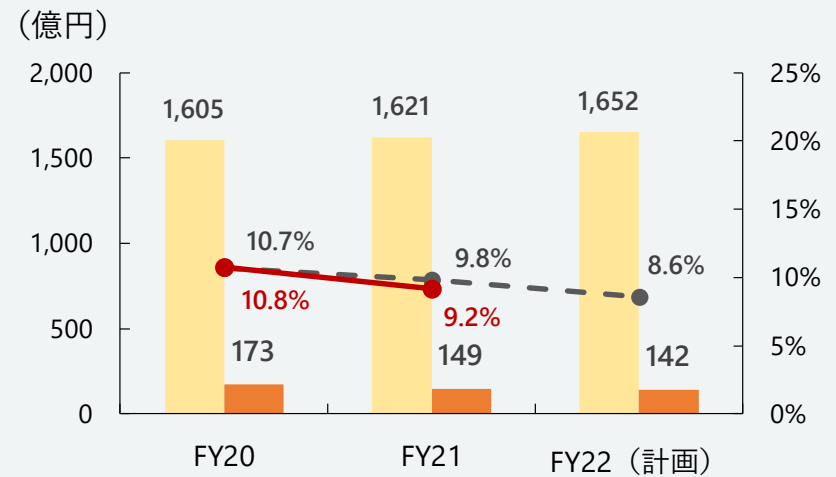
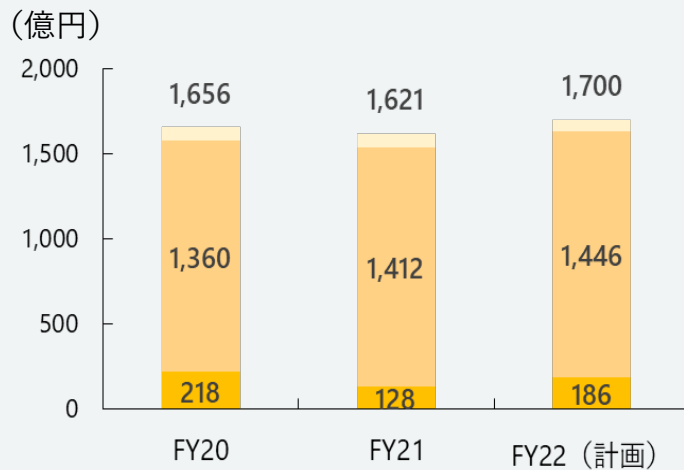


売上高と売上総利益※1



第3四半期

通期



※1 従来の前田道路の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない。

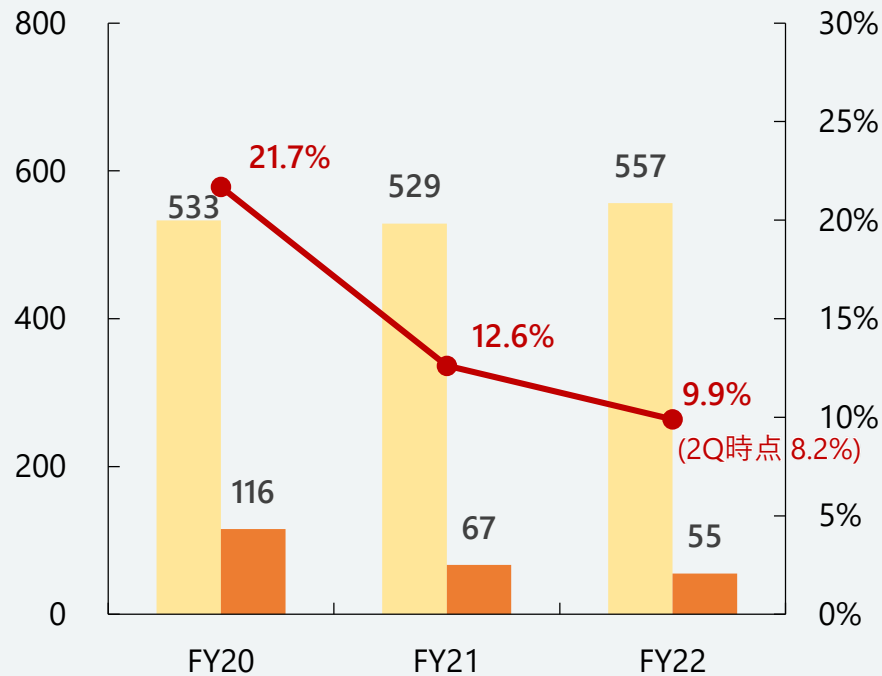
※2 その他：関連会社の受注高（主に官庁工事）及びセグメント内取引消去高

## 12. 舗装セグメント 売上高と売上総利益の推移（前田道路 連結 製造販売事業）

- FY22 3Q 前年同期比増収減益となっているものの、これまでの値上げ効果に加え、ストレートアスファルト価格が下降傾向により、業績改善が進んでいる
- FY22通期 販売価格が製造原価を上回ったことで、更に業績改善が進み計画達成の見込み

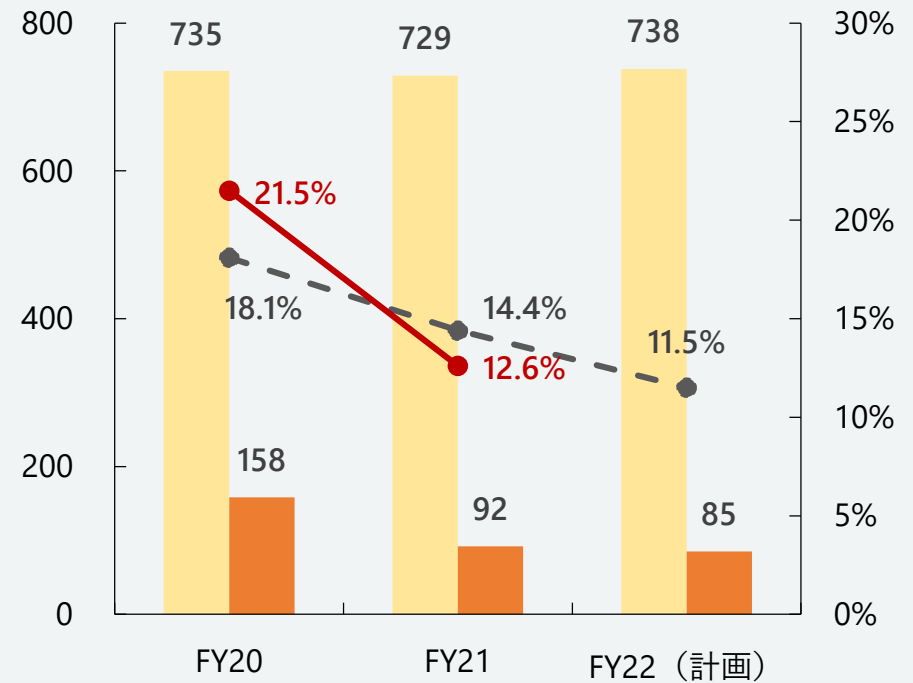
### 第3四半期※

売上高 売上総利益 売上総利益率\_実績



### 通 期

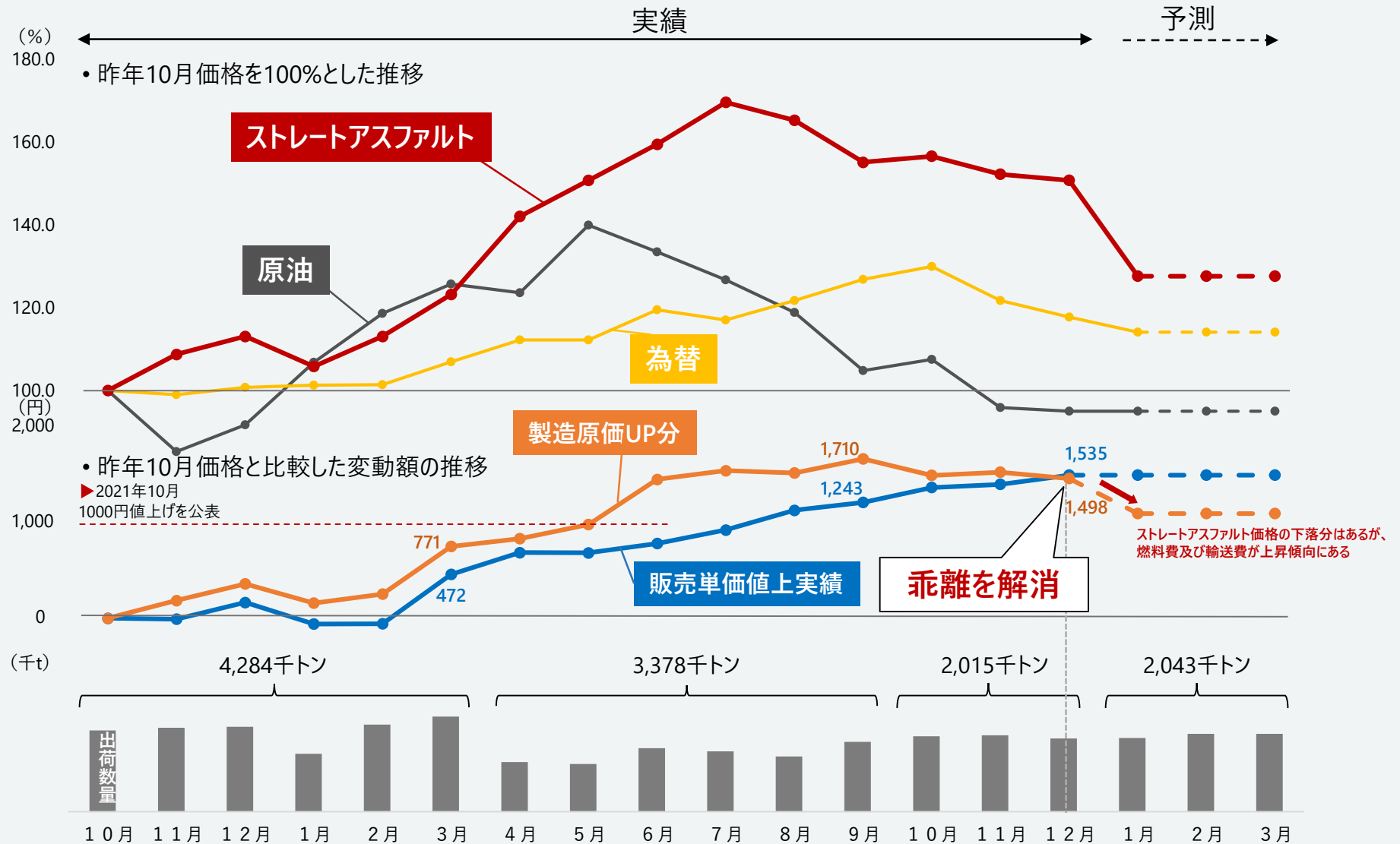
売上高 売上総利益  
売上総利益率\_計画 売上総利益率\_実績



※上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

### 13. 物価高騰の影響について（舗装セグメント）

- アスファルト合材の主材料であるストレートアスファルト価格は、7月をピークに下降傾向  
 今後は、**ほぼ横ばいで推移する見通し、12月より単月黒字に転換**
- **ただし、電気代、ガス代、輸送費などによる製造原価の上昇を販売価格に反映させる必要がある**
- ストレートアスファルト価格の下落と継続的な値上げにより、「**製造原価UP分**」と「**販売単価値上実績**」の乖離を解消  
 <原価構成要素、製造原価と販売単価、合材出荷数量の推移（2021年10月比）>



## 14. トピックス「日本バイオフィューエル株式会社の設立」

## POINT

- ✓ 前田道路の子会社に、「**バイオ重油**」の製造・販売を行う新会社を設立
- ✓ アスファルト合材の製造時に「**バイオ重油**」を使用することで、**CO2排出量を大幅に削減**
- ✓ 「**バイオ重油**」の活用により、**収益の安定化を図る**

会社名	日本バイオフィューエル株式会社
資本金	1,000万円
所在地	広島県世羅郡
設立	2022年9月

工場完成予定	2023年6月
事業開始予定	2023年8月
主たる事業	バイオ重油の製造・販売事業
製造委託	バイオ燃料技研工業株式会社

## 原料

## 【調達先】



植物油工場、レストラン、スーパーマーケット  
BDF製造工場、食品工場、排水処理施設等

## 【原料】



油滓、廃グリセリン、食品加工工場油脂  
廃棄牛乳、排水処理施設回収油等

## 製造

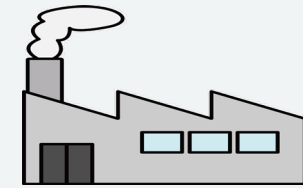
## 【バイオ重油製造プラント】

運営：日本バイオフィューエル株式会社  
所在地：広島県世羅郡世羅町

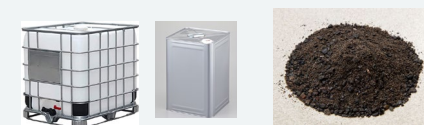


## 【製品製造量】

バイオ重油：13,092KL／年  
副産物：脱窒材・剥離剤 1,794KL／年  
肥料系 1,622KL／年

【前田道路の  
アスファルト合材製造工場で活用】

## 【副産物販売】



脱窒材や剥離剤、肥料などを販売

前田道路全体の合材製造過程において排出される**CO2を約13%削減（約36,000 t / 年間）**



## セグメント別ハイライト

建築

土木

インフラ運営

舗装

機械

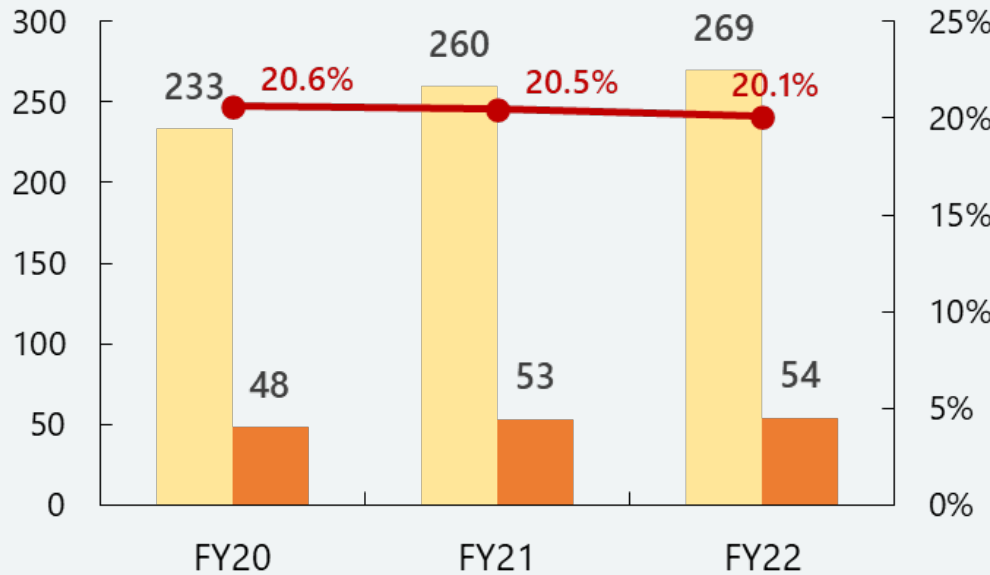
その他

## 15. 機械セグメント 売上高と売上総利益の推移（前田製作所 連結）

- FY22 3Q 前年同期比増収増益
- FY22通期 売上高、売上総利益共に通期計画を達成する見込み

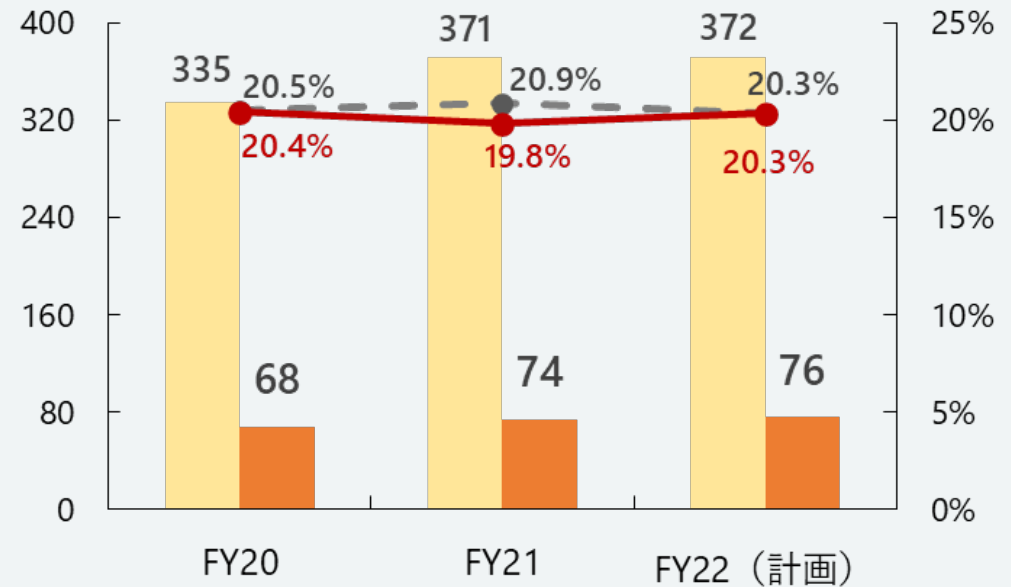
### 第3四半期

売上高 売上総利益 売上総利益率\_実績



### 通期

売上高 売上総利益  
売上総利益率\_計画 売上総利益率\_実績



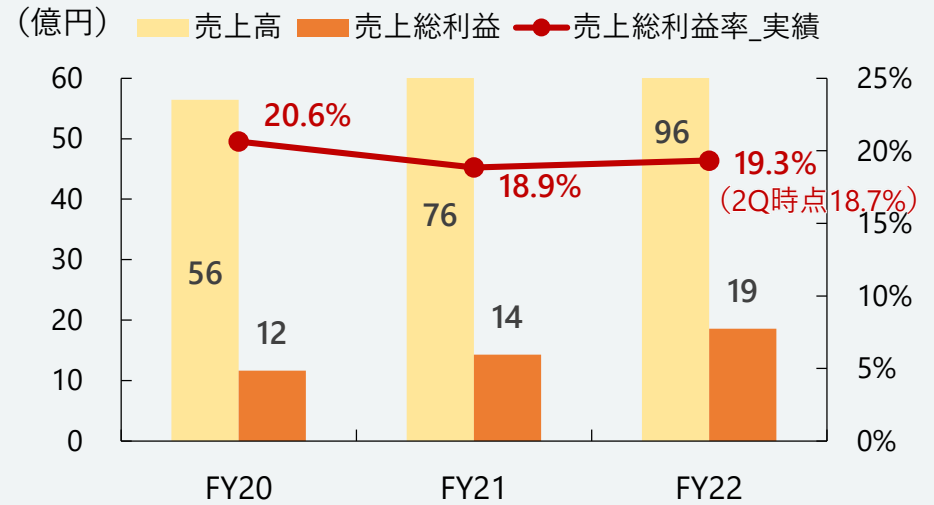
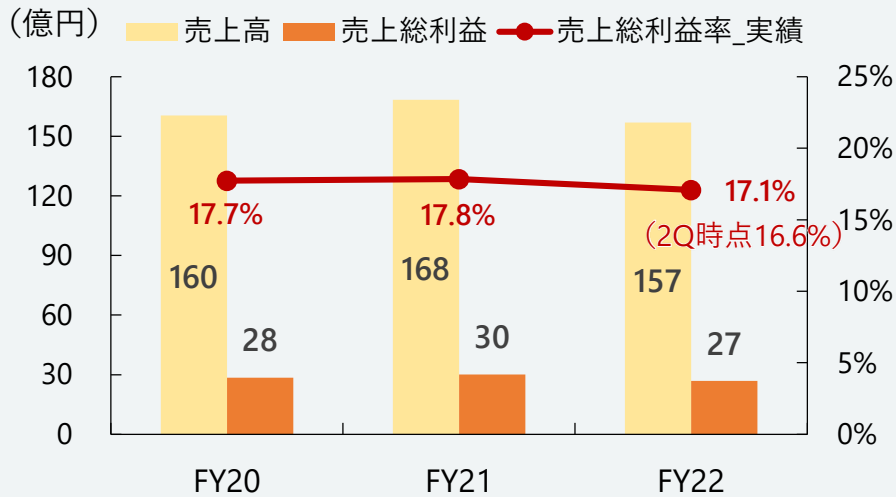
## 16. 機械セグメント 売上高と売上総利益の推移※1（前田製作所 連結）

- FY22 3Q 産業・鉄構機械等事業のクローラークレーンをはじめとする自社製品の販売が堅調に推移
- FY22通期 4Qにかけても、需要は堅調であり、通期業績は計画を達成する見込み

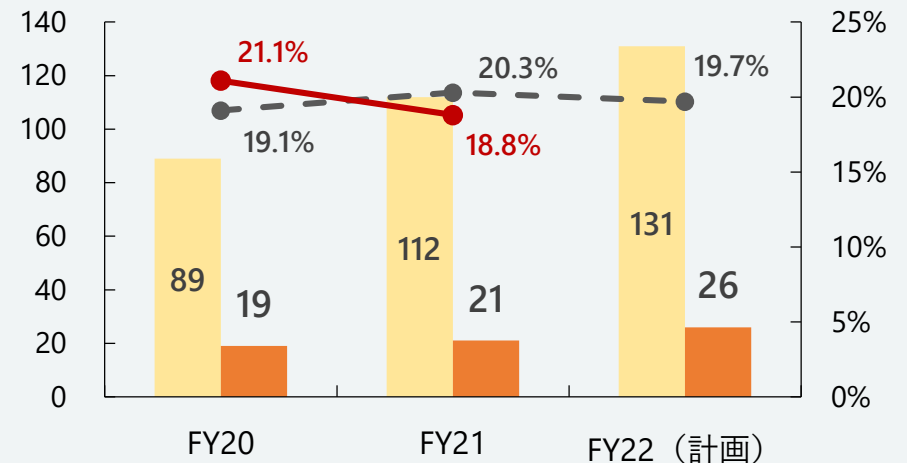
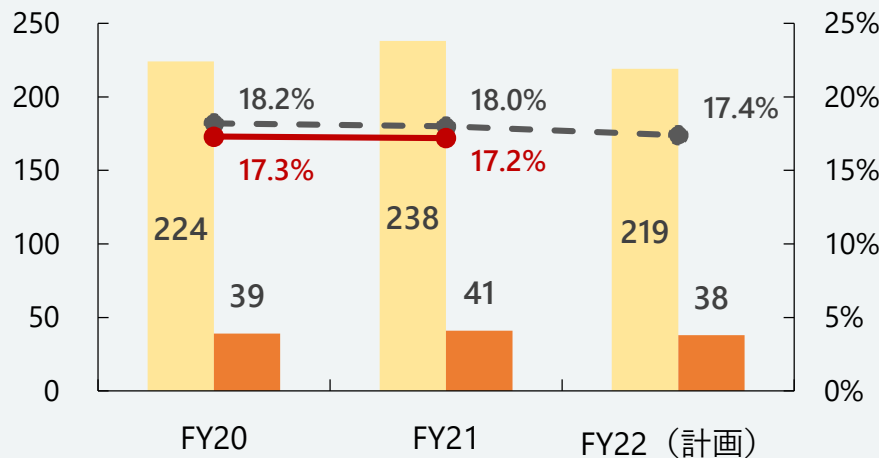
建設機械※2

産業・鉄構機械等※3

第3  
四半期



通  
期



※1 機械セグメントの内、主要事業である建設機械事業、産業・鉄構機械等事業の数値

※2 コマツ製品の販売・サービス・レンタルを主体とした事業

※3 クレーン等自社製品の設計・製造・販売を主体とした事業

# Appendix

# IFRS移行スケジュールと移行に伴う主な変更点について

	FY23				FY24以降
	1Q	2Q	3Q	4Q	
連結業績予想	日本会計基準 & IFRS				IFRS
連結業績	日本会計基準			IFRS※	

※1Q~4Qの累計を4Q決算時に開示

## IFRS移行に伴う主な変更点

(単位：億円)

### 1. のれんの会計処理

日本基準 のれんの償却**あり**  
IFRS のれんの償却**無し**

のれん償却額 (年間)	~FY22	FY23~
	日本会計基準	IFRS
	66	0

PL上一般管理費(年間)66億円の減少

FY23以降のれんの償却はなくなり、**PL上一般管理費が66億円削減**される

※M & Aにより生じた機械等償却費17億円については残る

### 2. 有形固定資産の減価償却費

償却方法が**定率法から定額法へ変更**となる。

既に取得し定率法を用いていた資産は、過年度に遡って償却方法が定率法から定額法に変更となるが、当社PLへの影響は限定的となる見込み。

### 3. 有価証券

日本会計基準では売却損益をPLに計上するが、IFRSでは**売却損益はPLに計上されない**。

※評価差額の計上を「包括利益計上 (FVOCI)」を選択した場合

## 1. 【個別】前田建設 FY22 3Q実績（累計）とFY22通期計画

(億円)

		FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	前年同期比
売上高		2,548	2,582	33
建築	計	1,525	1,403	△ 123
	国内	1,525	1,411	△ 115
	海外	0	6	6
土木	計	990	1,081	91
	国内	987	1,081	94
	海外	3	0	△ 3
インフラ運営		8	70	62
不動産		24	14	△ 10
売上総利益		324 (12.7%)	406 (15.7%)	81
建築	計	140 (9.2%)	124 (8.8%)	△ 16
	国内	140 (9.2%)	123 (8.7%)	△ 17
	海外	0 —	0 (6.6%)	0
土木	計	163 (16.4%)	205 (19.0%)	43
	国内	151 (15.3%)	196 (18.1%)	45
	海外	11 —	9 —	△ 2
インフラ運営		8 (99.3%)	70 (99.9%)	62
不動産		14 (56.1%)	7 (48.9%)	△ 7
一般管理費		207 (8.1%)	212 (8.2%)	4
営業利益		117 (4.6%)	194 (7.5%)	77
経常利益		193 (7.6%)	217 (8.4%)	24
当期純利益		147 (5.8%)	220 (8.5%)	72

FY22 通期計画	FY22 修正計画	進捗率
4,025	3,839	67.3%
2,385	2,283	61.4%
2,375	2,274	62.0%
10	9	69.1%
1,550	1,465	73.8%
1,543	1,463	73.9%
7	2	6.5%
75	74	94.4%
15	17	83.6%
582 (14.5%)	563 (14.7%)	72.0%
259 (10.9%)	232 (10.2%)	47.7%
258 (10.9%)	231 (10.2%)	47.8%
1 (10.0%)	1 (11.1%)	41.0%
241 (15.5%)	249 (17.0%)	85.1%
233 (15.1%)	241 (16.5%)	84.2%
8 (114.3%)	8 (410.0%)	112.1%
75 (100.0%)	74 (100.0%)	93.1%
8 (53.3%)	8 (47.1%)	86.8%
276 (6.9%)	285 (7.1%)	74.2%
306 (7.6%)	278 (6.9%)	69.8%
321 (8.0%)	302 (7.5%)	71.9%
280 (7.0%)	287 (7.1%)	76.5%

## 2. 【連結】前田道路 FY22 3Q実績（累計）とFY22通期計画

(億円)

	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	前年 同期比
売上高	1,691	1,783	92
建設事業	1,158	1,222	64
製造販売	529	557	28
その他	4	4	0
売上総利益	170 (10.1%)	166 (9.3%)	△ 4
建設事業	101 (8.8%)	109 (8.9%)	7
製造販売	67 (12.6%)	55 (9.9%)	△ 12
その他	2 (49.4%)	2 (43.3%)	△ 0
一般管理費	92 (5.4%)	102 (5.7%)	10
営業利益	79 (4.6%)	64 (3.6%)	△ 15
経常利益	82 (4.8%)	68 (3.8%)	△ 13
当期純利益	70 (4.1%)	50 (2.8%)	△ 20

	FY22 通期計画	FY22 2Q時修正計画	進捗率
	2,430	2,390	74.6%
	1,660	1,652	74.0%
	770	738	75.4%
	—	—	—
	280 (11.5%)	227 (9.5%)	73.0%
	174 (10.5%)	142 (8.6%)	76.6%
	106 (13.8%)	85 (11.5%)	64.8%
	—	—	—
	142 (5.8%)	135 (5.6%)	75.7%
	138 (5.7%)	92 (3.9%)	69.1%
	140 (5.8%)	96 (4.0%)	71.2%
	92 (3.8%)	77 (3.2%)	64.6%



## 3. 【連結】前田製作所 FY22 3Q実績（累計）とFY22通期計画

(億円)

	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	前年 同期比
売上高	260	269	10
建設機械	168	157	△ 11
産業・鉄鋼機械等	76	96	20
介護用品・その他	16	16	1
売上総利益	53 (20.5%)	54 (20.1%)	1
建設機械	30 (17.8%)	27 (17.1%)	△ 3
産業・鉄鋼機械等	14 (18.9%)	19 (19.3%)	4
介護用品・その他	9 (56.8%)	9 (53.4%)	△ 0
一般管理費	41 (15.9%)	43 (16.1%)	2
営業利益	12 (4.6%)	11 (4.0%)	△ 1
経常利益	13 (4.9%)	12 (4.4%)	△ 1
当期純利益	8 (3.2%)	10 (3.8%)	2

	FY22 通期計画	FY22 修正計画	進捗率
	372	修正なし	72.4%
	219		71.8%
	131		73.1%
	22		73.8%
	76 (20.3%)		71.6%
	38 (17.4%)		70.6%
	26 (19.7%)		71.7%
	12 (53.0%)		74.5%
	60 (16.1%)		72.3%
	16 (4.2%)		68.7%
	17 (4.5%)	71.1%	
	11 (3.0%)	92.0%	

#### 4. 主なグループ会社のFY22 3Q実績（累計）と通期計画

(百万円)

連結子会社	(株)エフビーエス				フジミ工研(株)				(株)JM			
	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	FY22 通期計画	FY22 修正計画	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	FY22 通期計画	FY22 修正計画	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	FY22 通期計画	FY22 修正計画
売上高	15,509	11,844	21,382	16,500	5,163	6,367	9,000	8,774	15,053	14,975	21,000	21,000
営業利益	712	265	986	450	167	185	218	223	294	185	460	448
経常利益	738	274	996	462	1,709	219	245	260	313	206	470	468
当期純利益	492	160	650	273	1,324	375	246	208	229	145	296	296

連結子会社	愛知道路コンセッション(株)				みおつくし工業用水コンセッション(株)			
	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	FY22 通期計画	FY22 修正計画	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	FY22 通期計画	FY22 修正計画
売上高	10,185	10,816	13,406	修正なし	—	1,020	1,290	1,290
営業利益	2,060	1,559	2,808		—	181	126	52
経常利益	1,039	653	1,606		—	171	36	36
当期純利益	951	588	1,476		—	106	22	22

持分法 適用会社	東洋建設(株)				光が丘興産(株)			
	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	FY22 通期計画	FY22 修正計画	FY21 3Q実績	FY22 3Q実績	FY22 通期計画	FY22 修正計画
売上高	101,497	104,099	162,694	153,000	2,611	2,920	3,800	3,800
営業利益	4,610	4,001	8,500	7,000	369	550	500	520
経常利益	4,695	3,753	8,500	6,800	2,843	1,627	1,560	1,580
当期純利益	3,135	2,249	6,000	4,300	2,332	1,321	1,100	1,150

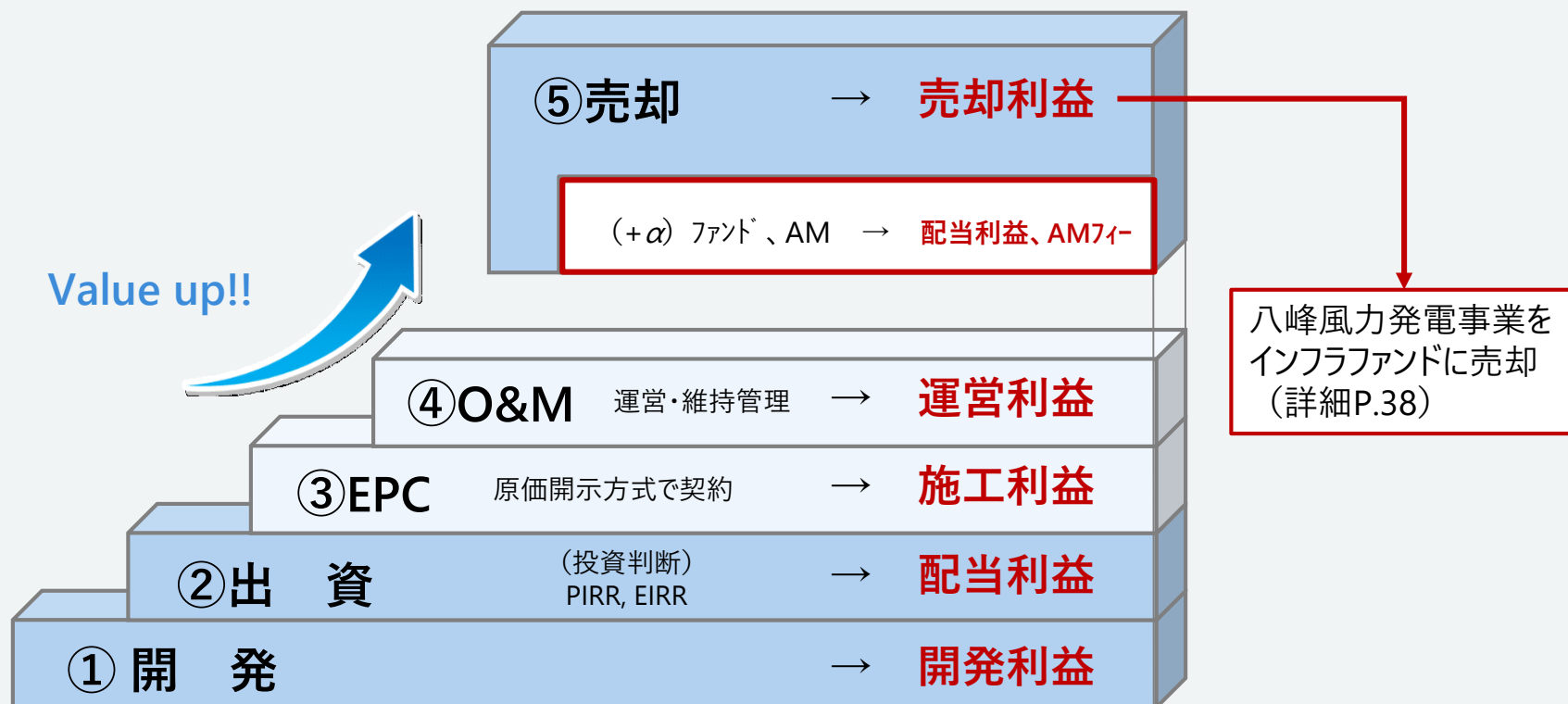
## 5. セグメント分けの変更

- ・ホールディングス化に伴い、セグメント分けを変更
- ・セグメント変更に伴う業績数値の大きな変化はない

インフロニア・ホールディングスのセグメント		これまでの前田建設連結のセグメント	
建築事業	前田建設工業(株)建築事業 前田建設工業(株)不動産事業 (建築)	建築事業	前田建設工業(株)建築事業 (株)JM Thai Maeda Corporation Limited (株)エフビーエス 建築事業
土木事業	前田建設工業(株)土木事業 前田建設工業(株)不動産事業 (土木)	土木事業	前田建設工業(株)土木事業 (株)エフビーエス 土木事業
舗装事業	前田道路(株) (連結)	舗装事業	前田道路(株) (連結)
機械事業	(株)前田製作所 (連結)	製造事業	(株)前田製作所 (個別) フジミ工研(株)
インフラ運営事業	前田建設工業(株)インフラ運営事業 匿名組合五葉山太陽光発電 愛知道路コンセッション(株) 匿名組合愛知道路コンセッション 匿名組合美祢太陽光発電 匿名組合八峰風力開発	インフラ運営事業	前田建設工業(株)インフラ運営事業 匿名組合五葉山太陽光発電 愛知道路コンセッション(株) 匿名組合愛知道路コンセッション 匿名組合美祢太陽光発電 匿名組合八峰風力開発
その他	(株)JM Thai Maeda Corporation Limited (株)エフビーエス フジミ工研(株)	その他	前田建設工業(株)不動産事業 (建築・土木)

## 6. インフラ運営事業のビジネスモデル

- インフラ運営事業は、インフラの上流～下流（売却までを含める）までの全ての段階（①～⑤）で、収益を獲得するビジネスモデルである



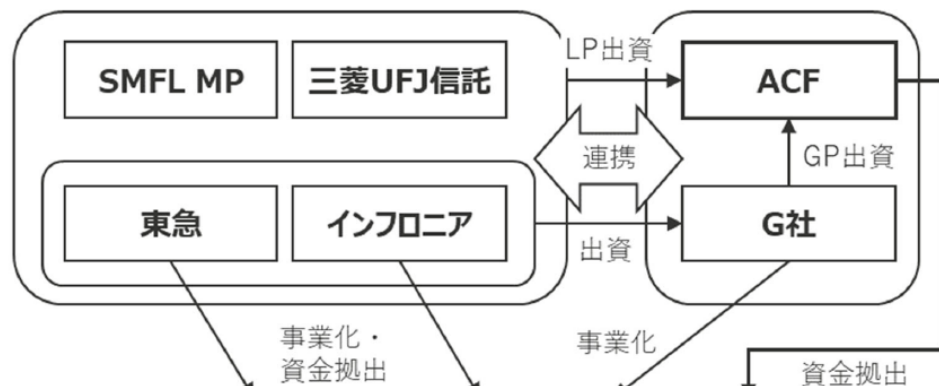
- 事業から5段階 + αで収益を獲得
- 施工ノウハウの強みを活かす（開発、EPC、O&M）

## 7. インフラ運営事業の新たな事業プラットフォームの構築

- 当社は、東急(株)、グローバル・インフラ・マネジメント(株)（当社と東急(株)が50%ずつ出資）、三井住友ファイナンス&リース株式会社（「SMFL」）および三菱UFJ信託銀行株式会社と共に、アセット・クリエーション・ファンド・シリーズ（「ACF」）とインカム・ファンド・シリーズ（「ICF」）という2種類のインフラファンドを含む、新たな事業プラットフォームを構築
- PPPや環境エネルギー分野などの近年注目されているインフラ事業領域での、更なる事業展開と国内インフラ資本市場の発展促進を目指す

### <ACFファンド>

#### 事業領域 1：国内インフラ事業の事業化/案件化領域



#### <インフラ事業現場における案件化&ファイナンス・ニーズ>

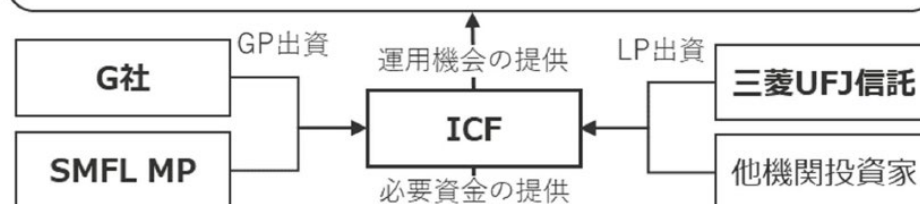
- 柔軟性や機動性の高い資金の需要（開発、公募・入札案件など）
- 事業化やキャッシュフローの安定化まで時間を要する機会
- ルール整備やスキーム作りの支援から求められる機会

### <ICFファンド>

#### 事業領域 2：国内インフラ資本市場領域

#### <国内機関投資家の国内インフラ事業分野での資金運用ニーズ>

- 安定的キャッシュフローの獲得
- ファンド運用者/事業者の事業運営能力とバリュアップ能力
- 適正なガバナンスとコンプライアンス



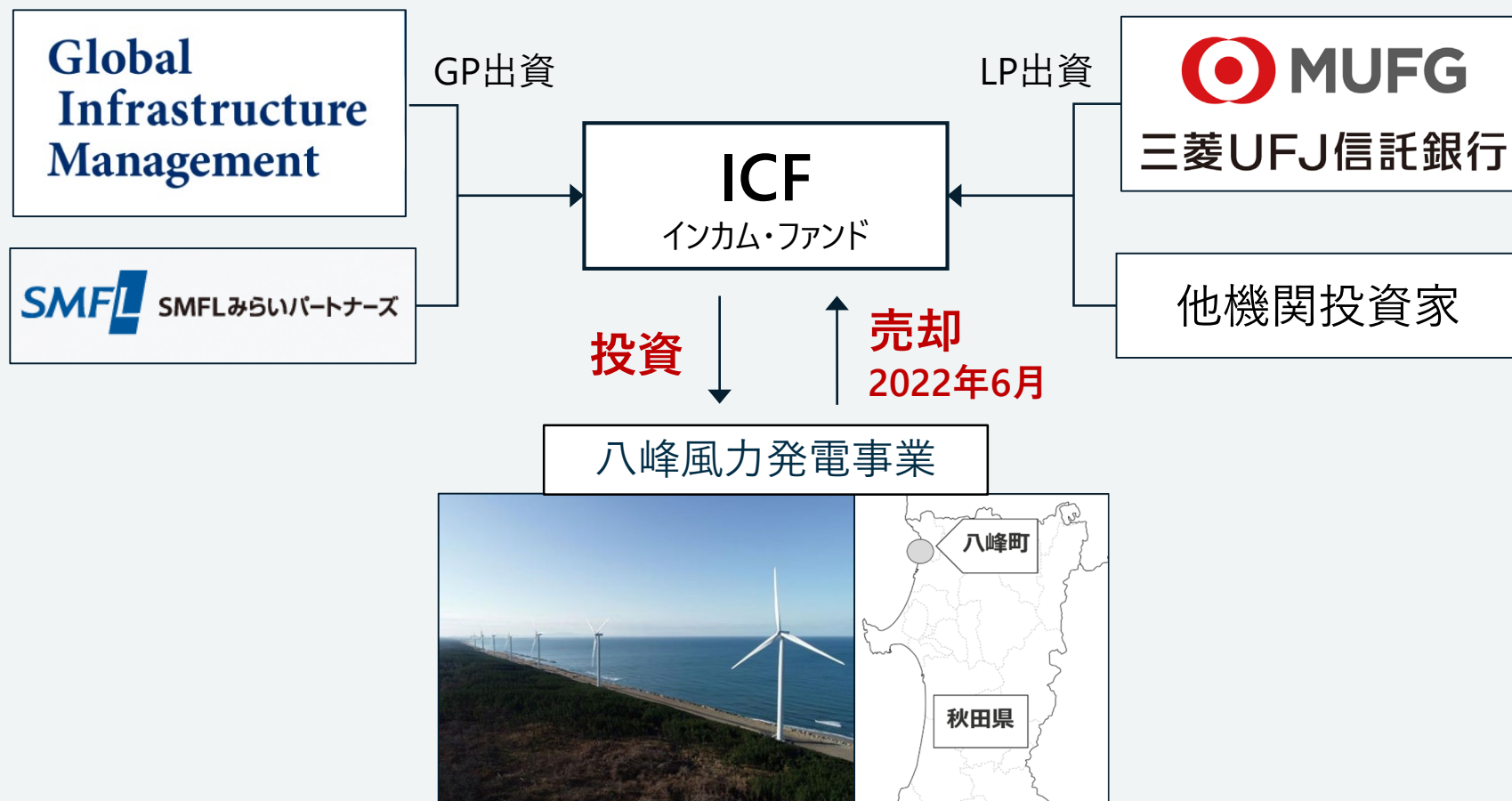
#### <インフラ事業関係者/事業主からのファイナンス・ニーズ>

- 事業の継続性、運営能力と責任感
- 安心感（顔が見える）と長期安定保有（売らない投資家）
- 資金（量）提供能力と資本コスト

2022年7月5日当社プレスリリース『新たなインフラ事業プラットフォームの構築について』より

## 8. インカム・ファンドにおける第1号投資案件

- グローバル・インフラ・マネジメント(株)（当社と東急(株)が50%ずつ出資）と、SMFLみらいパートナーズ(株)は、インフラ事業等を投資対象としたインフラファンドであるインカム・ファンド（ICF）を国内機関投資家と共同で組成
- 第1号投資案件として、秋田県八峰町の風力発電事業へ投資

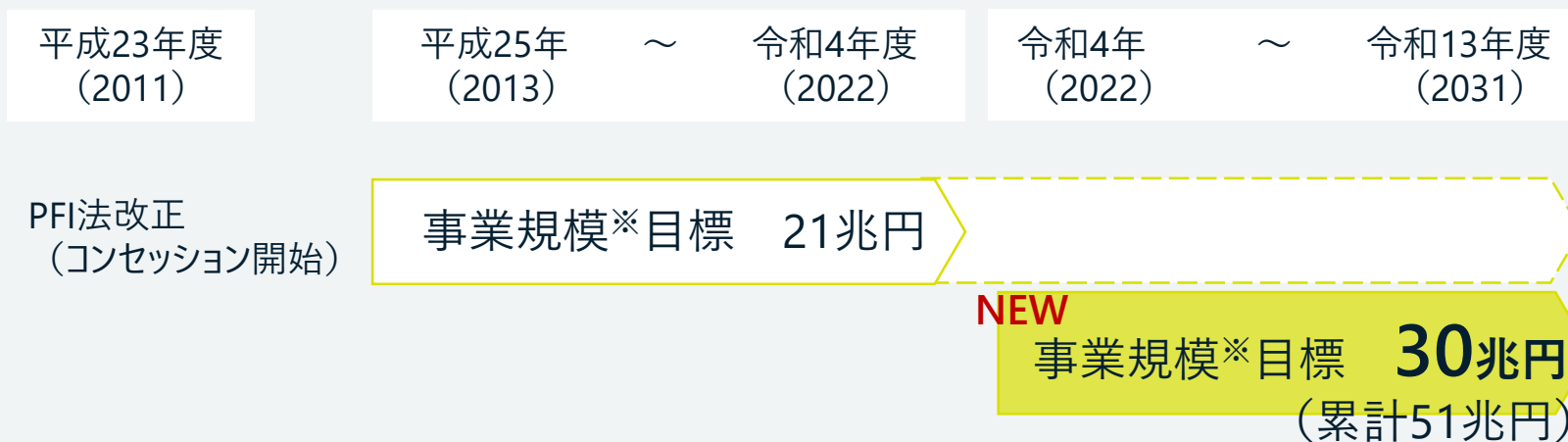


## 9. 政策動向：PPP/PFI推進アクションプラン（令和4年度改訂版）が内閣府より公表

### 岸田政権はPPP/PFIを**新しい資本主義の中核**として位置付け

- PPP/PFI推進アクションプランとは、PPP/PFI推進を目的として事業規模目標や重点分野の設定、PPP/PFI推進に向けた取組みを進めるための実行計画を定めたもの  
(PFI法に基づく民間資金等活用事業推進会議にて決定、内閣府PPP/PFI推進室が発表)
- 本アクションプランについては、進捗や課題フォローアップ等を踏まえて毎年更新
- 今年度は事業規模目標の更新タイミングで、**新たな事業規模目標\***が掲げられた

### ➤ インフロニアの中期経営計画策定時（2021年度）の**想定を大きく超える事業規模目標**

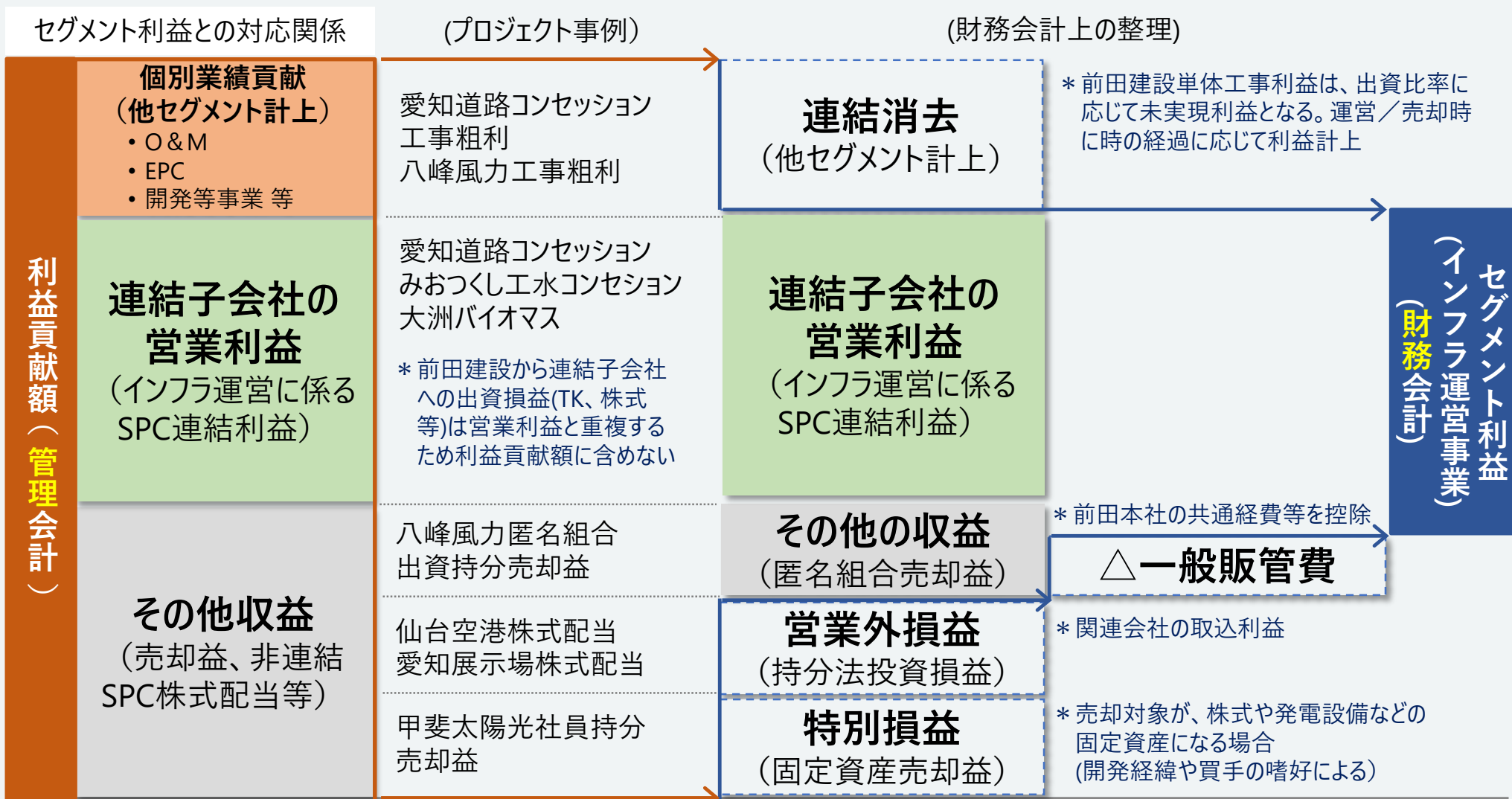


※ この場合の事業規模とは、この期間に契約締結した事業から見込まれる民間事業者の契約期間中の総収入であって、年間の売上高ではないことに留意が必要



# 10. インフラ運営セグメント「利益貢献額」と「セグメント利益」の違いについて

- 「利益貢献額」は、連結子会社個別の工事粗利、その他収益、営業利益を合計した**管理会計上の実質的な貢献額**。出資比率や売却スキームにより、連結上の利益表示箇所が異なることを考慮したもの
- 連結財務諸表の「セグメント利益(インフラ運営事業)」は、利益貢献額に含まれる工事利益などを連結消去し、管理部門の共通経費を控除した**財務会計上の営業利益**で、営業外/特別損益を計上する前の値



セグメント利益 (財務会計)

※利益貢献額では、前田本社共通経費等の一般管理費を考慮していない

※1 O&M インフラ施設の運転保守管理業務等  
 ※2 EPC インフラ運営事業に伴う新築工事 大規模修繕工事等



# 11. トピックス 「統合報告書2022 ～安全安心とサステナビリティ～」

## INFRONEER 統合報告書2022 ～安全安心とサステナビリティ～を発行しました (発行日：2022年10月3日)

### 全ての取り組みは、 社会課題解決と企業価値向上につながる

当社は、本統合報告書をステークホルダーの皆様と当社の重要なコミュニケーションツールであるとともに、ステークホルダーの皆様同士のコミュニケーションツールと位置付けています。

本統合報告書を通じて、当社の永続的な価値創造プロセスと地域・社会への価値提供についてご理解いただき、ステークホルダーエンゲージメントを積み上げ、社会・企業価値向上に寄与することを目指しています。

具体的には、①インフラを取り巻く喫緊の社会課題、②その解決に向けたインフロニアの考えと取り組み（ビジネスモデル）、③それによって実現される未来（VISION）について、全てのステークホルダーの皆様のご理解につなげ、共感を得ること、さらには「ともに、インフラの未来に挑む」ステークホルダーの関係性強化と獲得を目的としています。

### 「INFRONEER2022」の構成

【序章】課題認識&VISION

【第1章】トップの情熱

【第2章】私たちが目指す未来

【第3章】インフロニアの経営計画

【第4章】安全安心と信頼への取り組み

【第5章】IR情報

【最終章】価値創造の源泉



「INFRONEER2022」WEB版は記載のQRコード/URL

よりダウンロードください。

[https://www.infroneer.com/jp/company/integrated\\_report/report.html](https://www.infroneer.com/jp/company/integrated_report/report.html)



## News 1

# 日本証券新聞 公式YouTubeチャンネルで 「個人投資家向け会社説明会」のもようが公開されました！！

大阪、東京、名古屋の3会場で実施。個人投資家の皆様にインフラを取り巻く社会課題、インフロニアの目指す姿についてお伝えし、多くの反響を頂きました。

是非ご覧ください！



YouTube

YouTube URL : <https://www.youtube.com/watch?v=Ascyl4JN0tM>



## News2

# インフロニア・ホールディングス 公式Facebook、Instagram



インフラの未来に挑戦するインフロニアの姿をもっと多くの人に知ってもらいたい、という想いからFacebookとInstagramで情報発信を行っています。

ぜひフォロー&いいね！をお願いします！



Facebook

Facebook URL : <https://www.facebook.com/infroneer/hd/>



Instagram

Instagram URL : <https://www.instagram.com/infroneer/hd/>

## News3

# Kibe-log 岐ベログ

インフロニア・ホールディングスが何を考え、どういう社会の実現を目指しているのかを全てのステークホルダーにお伝えるため、社長の岐部が考えていることを発信していきます。



岐ベログ

岐ベログURL : <https://www.infroneer.com/jp/company/topblog.html>

### ～バックナンバー～

- 第1回：インフロニアが考えるインフラの未来
- 第2回：ホールディングス体制に移行した理由
- 第3回：建設コストの「原価開示」が重要だと考えるわけ
- 第4回：セカンダリー市場が拓くインフラ投資
- 第5回：インフラ投資を阻害する名ばかりノンリコースローン
- 第6回：ガーナ有料道路コンセッションというチャレンジ
- 第7回：インフロニアが考える「DX」



**【注意事項】**

本資料に記載されている業績数値は、決算短信の数字を億円単位とし、四捨五入しております。  
また、業績計画等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

インフラの未来に挑む  
Challenge the status quo

 **INFRAFRONTIER Holdings Inc.**